

東かがわ市地域公共交通活性化協議会委員名簿

別表（第3条関係）

R04. 11. 28現在
(順不同、敬称略)

No	所属等	役職・氏名	備考
1	大川自動車株式会社	代表取締役社長 佐藤 邦明	規約第3条2号
2	東讃共同株式会社	代表取締役 原田 信行	規約第3条2号
3	有限会社白鳥タクシー	代表取締役 木村 博	規約第3条2号
4	四国旅客鉄道株式会社総合企画本部	○ 担当課長 上野 智弘	規約第3条2号
5	香川高等専門学校建設環境工学科	教授 宮崎 耕輔	規約第3条5号
6	香川大学経済学部	教授 原 直行	規約第3条5号
7	四国運輸局交通政策部交通企画課	○ 課長 木村 圭佑	規約第3条3号
8	四国地方整備局香川河川国道事務所	道路調査課長 鹿児島 康一	規約第3条3号
9	香川県交流推進部	交通政策課長 岩崎 弘和	規約第3条3号
10	香川県長尾土木事務所	道路課長 石井 光弘	規約第3条3号
11	東かがわ警察署	交通課長 宮地 俊哉	規約第3条3号
12	地域コミュニティ連絡協議会	会長 小北 逸郎	規約第3条6号
13	地域コミュニティ連絡協議会	副会長 田中 好	規約第3条6号
14	地域コミュニティ連絡協議会	副会長 工藤 邦彰	規約第3条6号
15	東かがわ市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター 三好 裕美	規約第3条6号
16	東かがわ市観光協会	事務局長 尾崎 弘	規約第3条6号
17	東かがわ市	副市長 松本 吉弘	規約第3条1号
18	東かがわ市総務部	部長 久保 輝起	規約第3条3号
19	東かがわ市市民部	部長 石川 伸一	規約第3条3号
20	東かがわ市事業部	部長 七條 政文	規約第3条3号
21	東かがわ市教育委員会	部長 中川 敬彦	規約第3条3号

※役職名の前に○印の表記が今回の委嘱委員（各所属の異動、役員改編によるもの）

タクシーチケット型実証実験の結果まとめ

1. 実証実験の概要

実証実験の概要は次に示すとおり。

実証実験の目的	東かがわ市内においては、高齢者や免許返納者等の交通弱者の移動手段確保が大きな課題となっている一方、タクシー事業者側には、運転士不足と午前中への需要の集中という問題がある。 こうした課題を受けて、タクシーの利用が少ない時間帯の活用によるタクシーの効率的な運行につながるかの検証と、タクシーによるドアツードア型の交通弱者支援策の有効性の検証、併せて交通弱者の外出機会の創出に寄与するかの検証を行う。
実証実験期間	令和4年7月1日～9月30日の3カ月間
利用者への助成額	1枚500円の助成となるタクシーチケットを一人6枚配布（計3,000円分） ※1回あたりに利用できる枚数に制限なし
対象者	水主地区・相生地区に居住する75歳以上の住民 ※対象者全員（782人）に配布
利用時間帯と利用可能なタクシー事業者	<平日> 13:00～22:00（白鳥タクシー、東讃共同タクシー） 13:00～17:30（介護タクシーたんぽぽの家） <土日祝> 7:00～22:00（白鳥タクシー、東讃共同タクシー） 8:30～17:30（介護タクシーたんぽぽの家）※日祝運休
助成に係る乗車範囲	乗降車地のいずれかが市内であること
助成金の請求及び支出方法（事業者用）	運転士はチケットの利用時に、チケットに必要事項を記入し集約する。 タクシー事業者は月毎にチケットを精算し、チケットの原本等とともに請求書を市に提出する。 市は請求書及び根拠資料であるチケットの枚数を確認のうえ、タクシー事業者にチケットの利用高に応じた金額を支出する。

わくわくおでかけタクシーチケット 実証実験を実施します！！

タクシーを活用した移動支援事業として、市内のタクシー会社で使えるタクシーチケットを使った実証実験を水主地区と相生地区で実施します。
「車がなく外出に困っている」「長い距離を歩くのが大変」「たまには友達と一緒に買い物に行きたい」など、利用方法は自由です。ぜひチケットを使ってお出かけしてみてください！

※チケットの利用方法や注意事項は裏面をご覧ください。

○対 象 水主・相生地区にお住まいの75歳以上の方
(令和4年9月30日現在)

○実施期間 令和4年7月1日(金)～9月30日(金)
※この期間以外はチケットは利用できません

○配布金額 3,000円分(500円券×6枚)

【利用できるタクシー会社と時間帯】

会社名 電話番号	利用できる時間帯
白鳥タクシー 0879-27-2235	平日 13:00～22:00
東讃共同タクシー 0879-25-2251	土日祝日 7:00～22:00
介護タクシー たんぽぽの家 (介護保険適用外のみ) 0879-26-1313	平日 13:00～17:30 土曜日 8:30～17:30 ※日祝日は利用できません

※どのタクシー会社も平日の午前中(13時まで)は、
チケットを利用できません。



チケットの使い方



- ①チケットの表紙と各チケットに名前を記入してください。
- ②タクシー会社へ予約の連絡をし、チケットを利用することを伝えてください。
※乗車待ちのタクシーを利用する場合は、利用前に乗務員へ申し出てください。
- ③運賃をチケットと現金で支払ってください。
※運賃を超える額をチケットで支払うことはできません。

チケットを使った支払方法(運賃1,200円の場合)

- チケット1枚(500円) + 現金 700円 ⇒ 利用できます
- チケット2枚(1,000円) + 現金 200円 ⇒ 利用できます
- チケット3枚(1,500円) ⇒ **利用できません**
※チケットが運賃額を超えるため

※注意事項※

- チケットは本人しか利用できません。家族や知り合いにあげたり、もらったりしないでください。
- チケットは換金できません。
- チケットは有効期限内しか利用できません。
- チケットは利用できる時間帯が限られています。詳しくは表面の利用時間帯をご確認ください。

2. タクシーチケットの配布・利用状況

- ・対象者全員（782 人）にチケットを配布したものの、3 カ月の実験期間中に 1 回以上利用したのは 20.1%（157 人）であった。
- ・チケット枚数ベースでは、全部で 4,692 枚のチケットを配布したものの、実際に利用されたのは 809 枚で、チケット枚数ベースでの利用率は 17.2%（809 枚）であった。
- ・全体的に運転免許を保有しない人が多く利用している。
- ・チケットが利用された運行回数は計 379 回で、1 回あたり平均 2.1 枚のチケットが利用され、乗合率は 1.4 人であった。

人数ベース

地区	対象人口 (配布者数)	実利用者数※		実利用者数 ／配布者数
水主	234 人	運転免許	あり 22 人	26.5%
			なし 40 人	
		計 62 人		
相生	548 人	運転免許	あり 23 人	17.3%
			なし 71 人	
			不明 1 人	
		計 95 人		
総計	782 人	運転免許	あり 45 人	20.1%
			なし 111 人	
			不明 1 人	
		計 157 人		

※実利用者数は、1 回でもチケットを利用した人

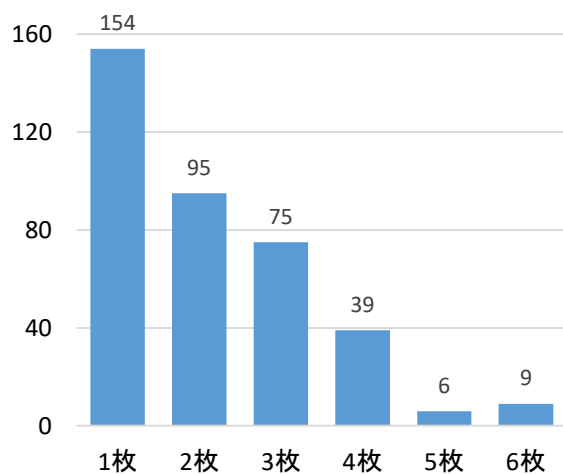
チケット枚数ベース

地区	チケット 配布数	チケット利用数		実利用者数 ／配布者数
水主	1,404 枚	運転免許	あり 111 人	23.3%
			なし 216 人	
		計 327 枚		
相生	3,288 枚	運転免許	あり 114 枚	14.6%
			なし 366 枚	
			不明 2 枚	
		計 482 枚		
総計	4,692 枚	運転免許	あり 225 枚	17.2%
			なし 582 枚	
			不明 2 枚	
		計 809 枚		

運行回数ベース

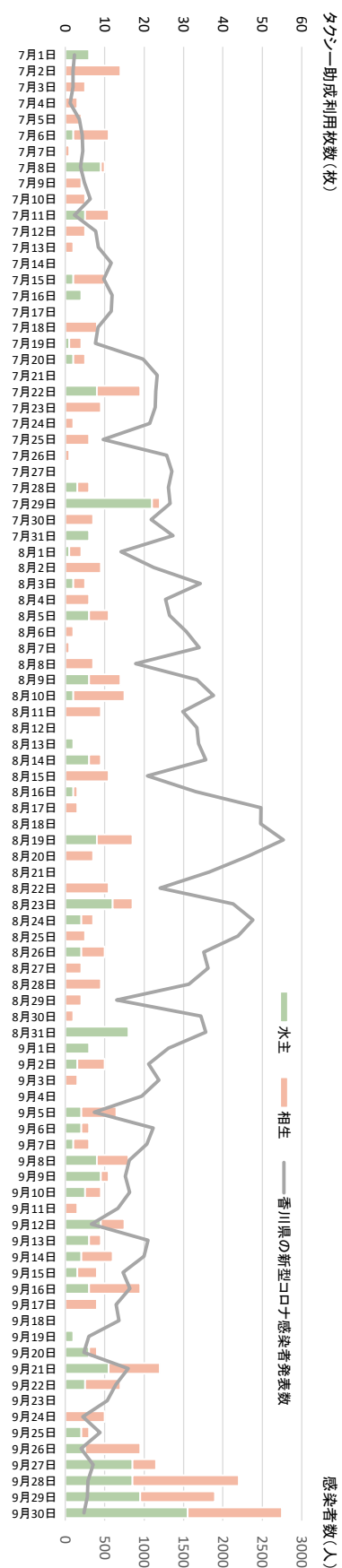
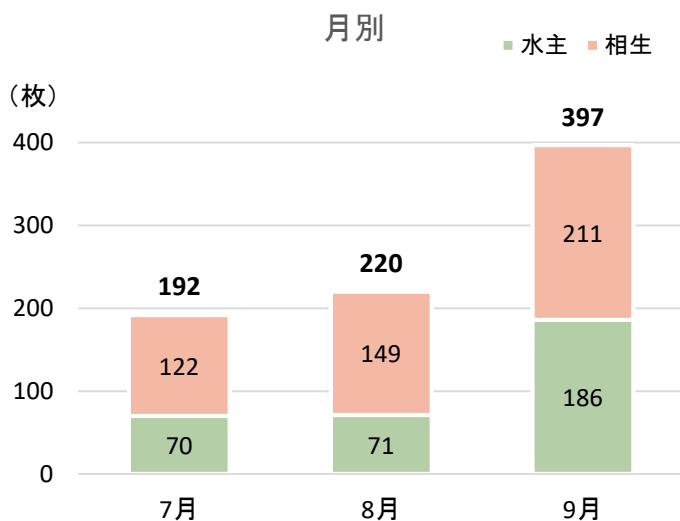
チケットを利用した 運行回数	1 回あたりの平均 チケット利用枚数	乗合率 (1 回あたりの乗客数)
379 回	平均 2.1 枚	平均 1.4 人

(回) 1運行あたりのチケット利用枚数



月別のチケット利用状況

- ・ 8 月後半に新型コロナの感染者が増加し、チケットの利用もあまり伸びなかったが、9 月後半には感染者数の増加も収まり、駆け込み利用が増加した。



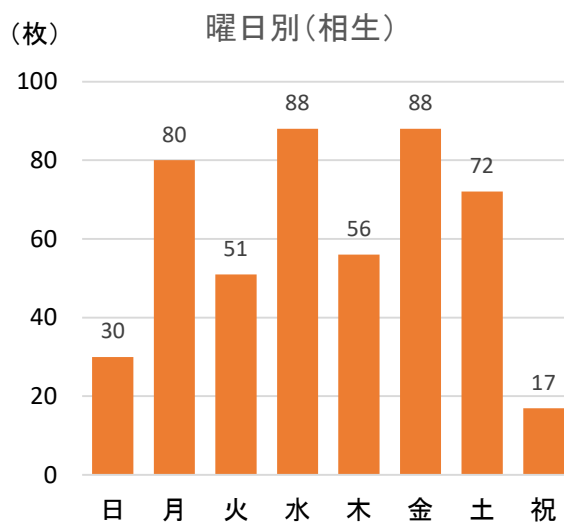
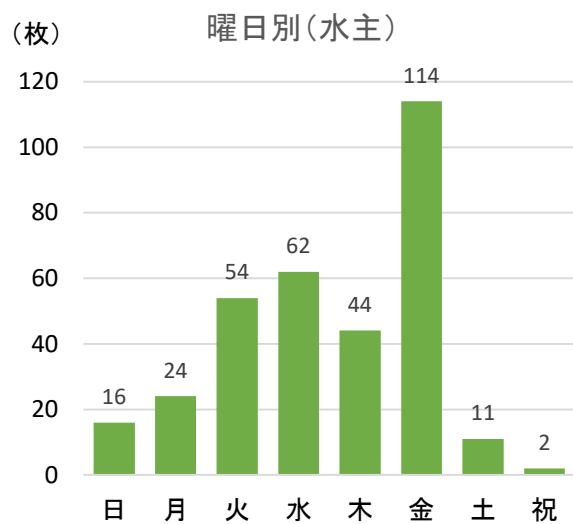
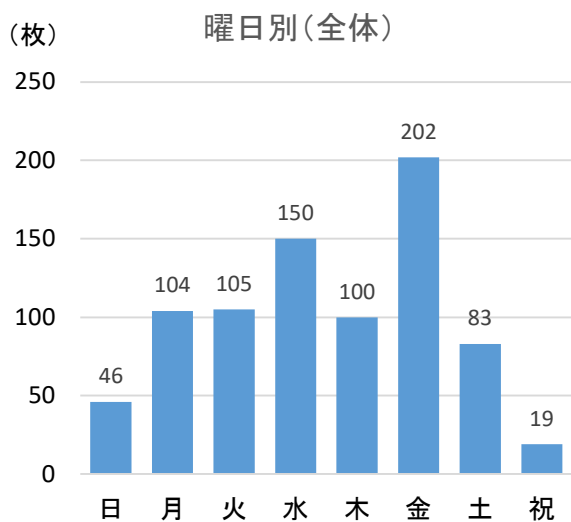
曜日別・時間帯別のチケット利用状況

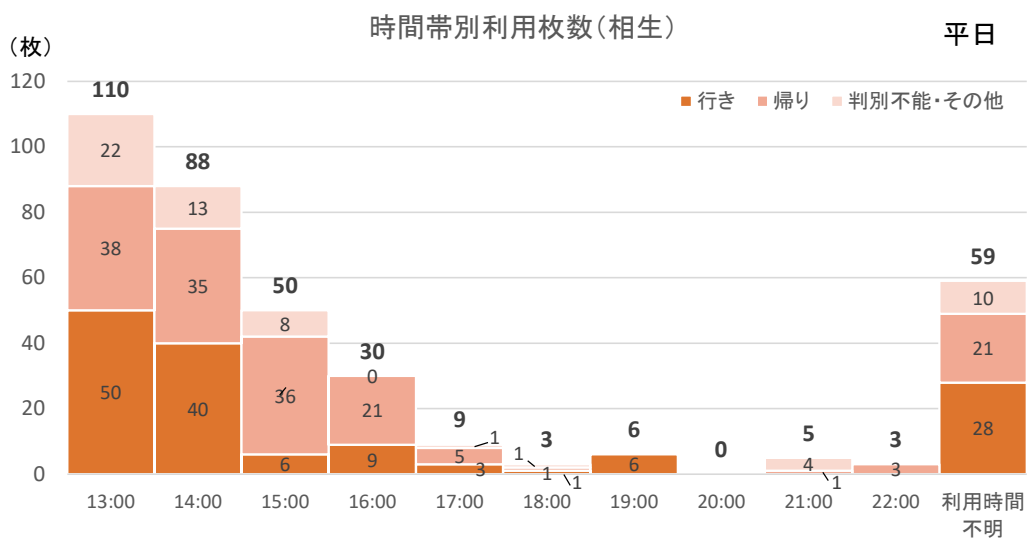
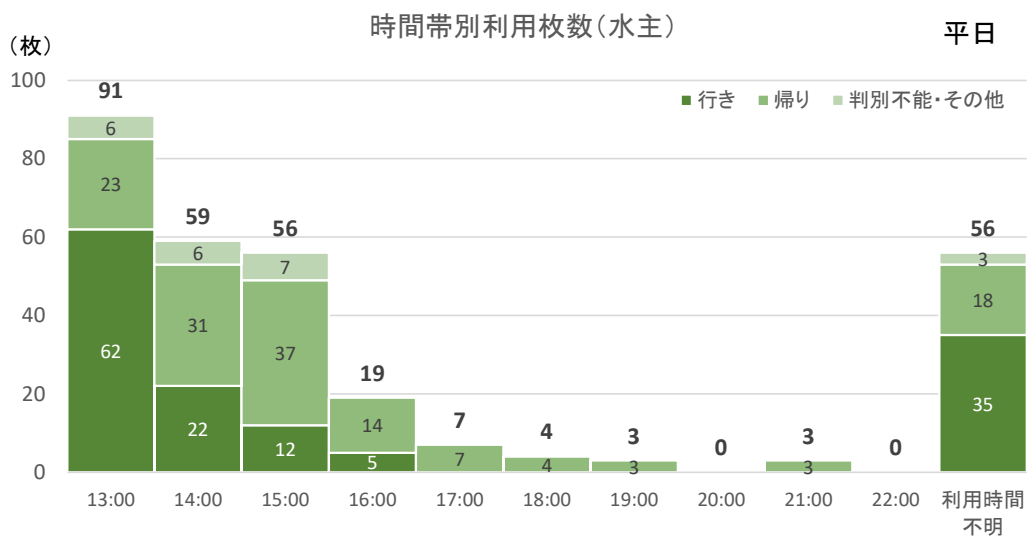
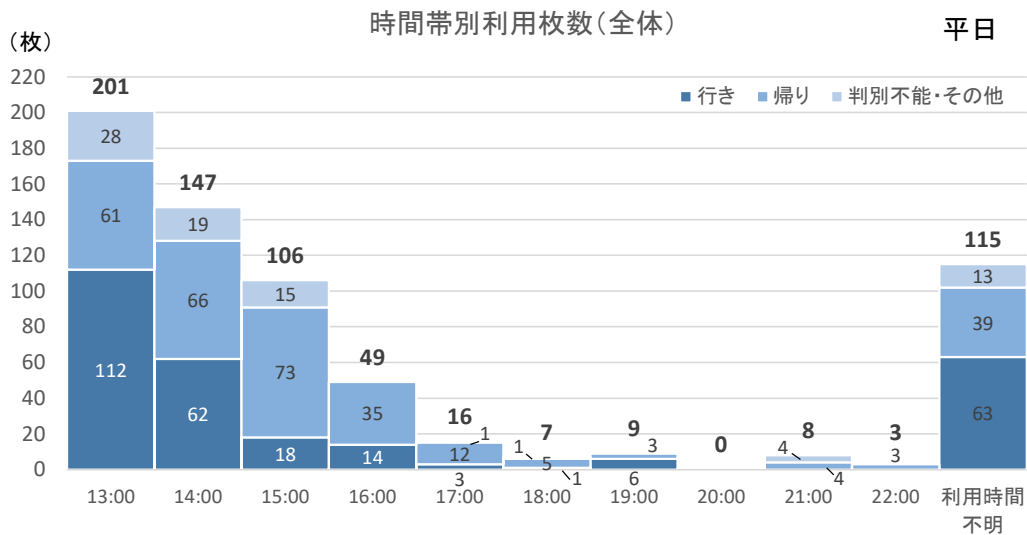
<曜日別>

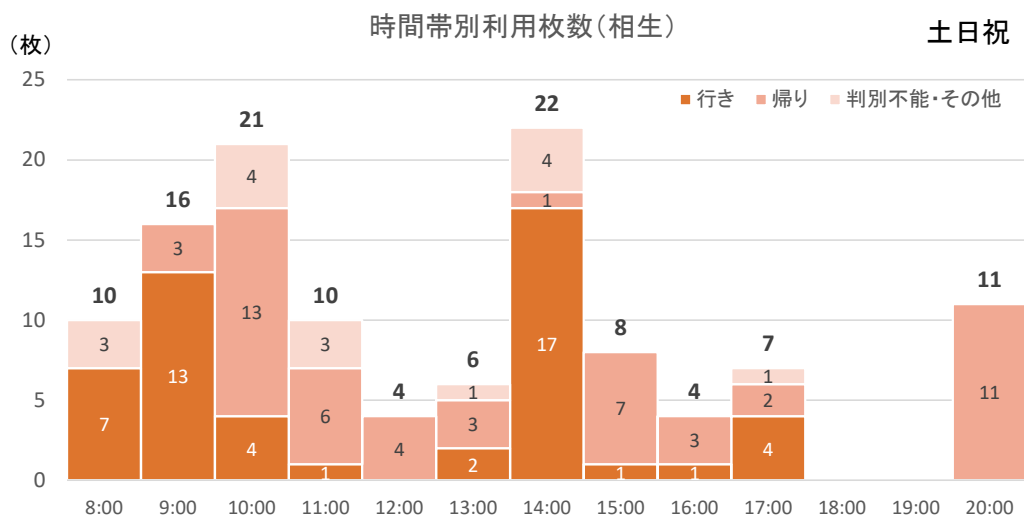
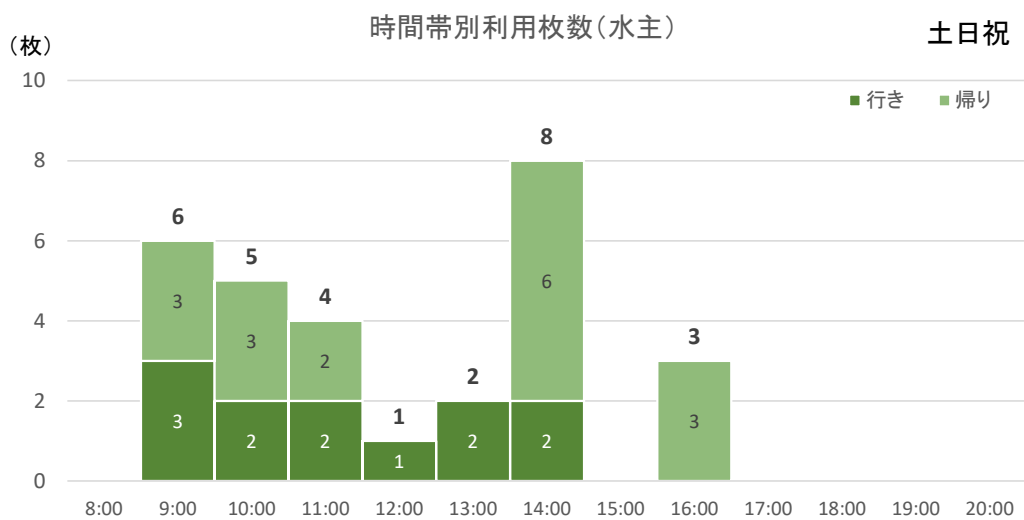
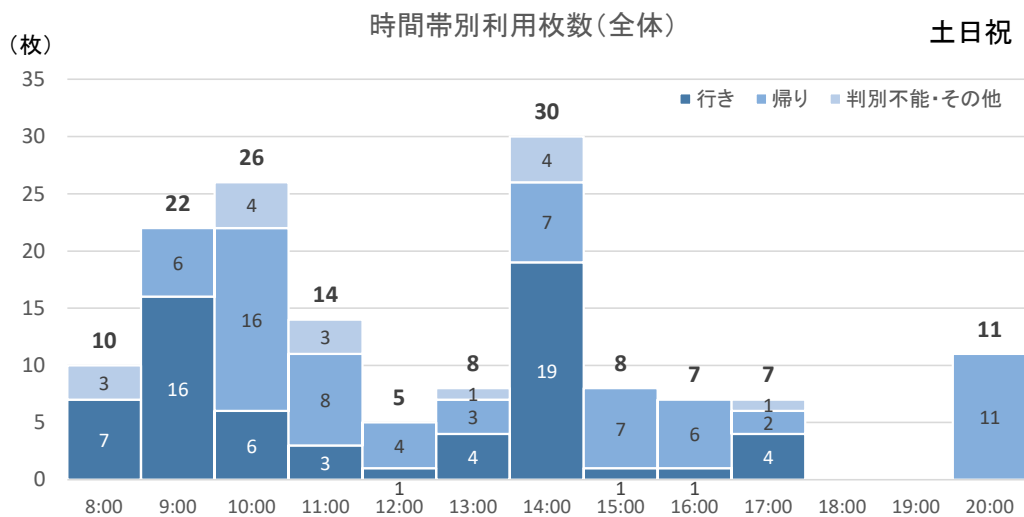
- ・水主地区では金曜日の利用が特に多く、月及び土日祝の利用が少なかった。
- ・相生地区では日祝の利用が少なく、月水金土の利用が多かった。

<時間帯別>

- ・平日は13～14時台から出かけて、14～16時台に帰る利用が多かった。
- ・土日祝は午前中（9～11時台）と午後（14時台）に利用が多かった。



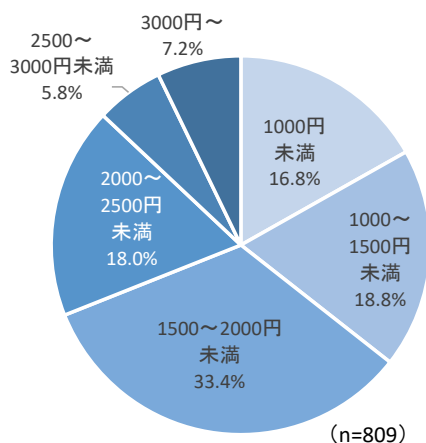




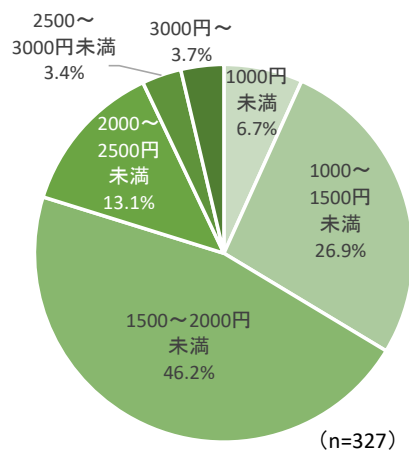
1 乗車あたりのメーター運賃

- 全体としては1,500～2,000円未満のメーター運賃での利用が多かった。
- 水主地区は1,500～2,000円未満の利用（主に三本松地区や白鳥地区との間の移動が想定される）が大半を占める一方、相生地区はさまざまな金額での利用が見られた（引田地区や白鳥地区など様々な地区との間の移動が想定される）。

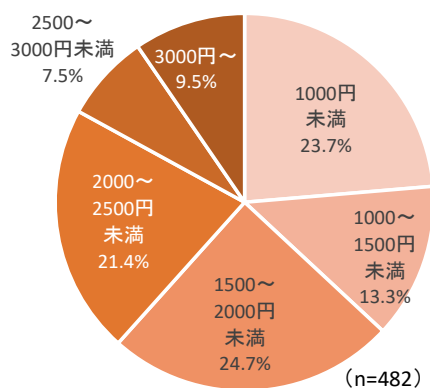
メーター運賃(全体)



メーター運賃(水主)



メーター運賃(相生)



主な発着地

<施設種別>

- ・ 自宅と医療機関・商業施設との間の移動が中心となっている。
- ・ 駅・バス停から自宅への移動も一部見られる。

<地区区分>

- ・ 水主地区の人は、主に三本松地区や白鳥地区との間の移動が中心となっている。
- ・ 相生地区の人は、主に引田地区や白鳥地区との間の移動が中心となっている。

発着地の施設種別（チケット枚数ベース）

発地 \ 着地	自宅	医療機関	商業施設	駅・バス停	その他	総計
自宅		108	76	6	151	341
医療機関	117		2		14	133
商業施設	98			3	18	119
駅・バス停	48					48
その他	108	15	19		26	168
総計	371	123	97	9	209	809

発着地の施設種別（運行回数ベース）

発地 \ 着地	自宅	医療機関	商業施設	駅・バス停	その他	総計
自宅		60	40	5	55	160
医療機関	55		2		7	64
商業施設	52			1	7	60
駅・バス停	23					23
その他	47	9	5		11	72
総計	177	69	47	6	80	379

※赤色着色が濃い部分ほどチケットが多く利用されたことを表す

※その他は公共施設、金融機関、高齢者施設（老人ホーム等）、薬局、理美容院、飲食店等

主な発着地（水主地区の利用者の発着地トップ10, チケット枚数ベース）

発地		着地	
マルナカ白鳥店	30	マルナカ白鳥店	33
三本松駅	24	阪本病院	20
阪本病院	16	東かがわ市交流プラザ	9
香川県立白鳥病院	9	ひとの駅さんぽんまつ	6
赤澤眼科医院	6	百十四銀行三本松支店	6
東かがわ市交流プラザ	6	田村内科医院	6
マルナカ大内店	6	赤澤眼科医院	5
ひとの駅さんぽんまつ	5	巴堂	5
焼肉味道良	4	東かがわ市社会福祉協議会	4
松村薬局白鳥マルナカ店	4	うえたに整骨院・鍼・灸院	4
シニアホームさんさん	4	白鳥温泉	4
鎌田医院	4	香川県立白鳥病院	4

主な発着地（相生地区の利用者の発着地トップ10, チケット枚数ベース）

発地		着地	
香川県立白鳥病院	43	マルナカ引田店	32
マルナカ引田店	40	香川県立白鳥病院	23
マルナカ白鳥店	25	マルナカ白鳥店	19
みさごクリニック	14	東かがわ市役所	14
引田駅	12	みさごクリニック	10
赤澤眼科医院	11	岡田眼科	8
コスモス白鳥店	9	古川医院	7
引田バス停	9	東かがわ警察署町田駐在所	5
引田支所	6	熊野美容室	5
松村薬局白鳥マルナカ店	5	コスモス白鳥店	5
		引田バス停	5
		赤澤眼科医院	5

発着地の地区区分（チケット枚数ベース）

発地 着地		水主地区	相生地区						東かがわ市内その他														市外		不明	総計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			馬宿	南野	坂元	黒羽	川股	吉田	三本松	白鳥	湊	引田	松原	伊座	帰来	与田山	入野山	西村	中筋	小砂	川東	落合	町田	大谷			さぬき市	鳴門市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
相生地区	水主地区																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</

※赤色着色が濃い部分ほどチケットが多く利用されたことを表す

3. 申請者アンケート調査

タクシーチケットを利用した人の利用目的や具体的な効果、利用しなかった人の利用しない理由等を把握するため、対象者に対してアンケート調査を行った。概要と結果は次に示すとおり。

① 調査概要

調査目的	タクシーチケットを利用した人の利用目的や具体的な効果、利用しなかった人の利用しない理由等を把握する。			
調査対象	水主地区・相生地区に居住する 75 歳以上の住民（766 人） ※実証実験の全対象者			
調査期間	令和 4 年 10 月 4 日～令和 4 年 10 月 17 日			
調査方法	郵送配布・郵送回収			
配布回収状況				
	地区	対象人口 (配布者数)	回収数	回収率
	水主	229 人	169 人	73.8%
	相生	537 人	347 人	64.6%
	総計	766 人	516 人	67.4%

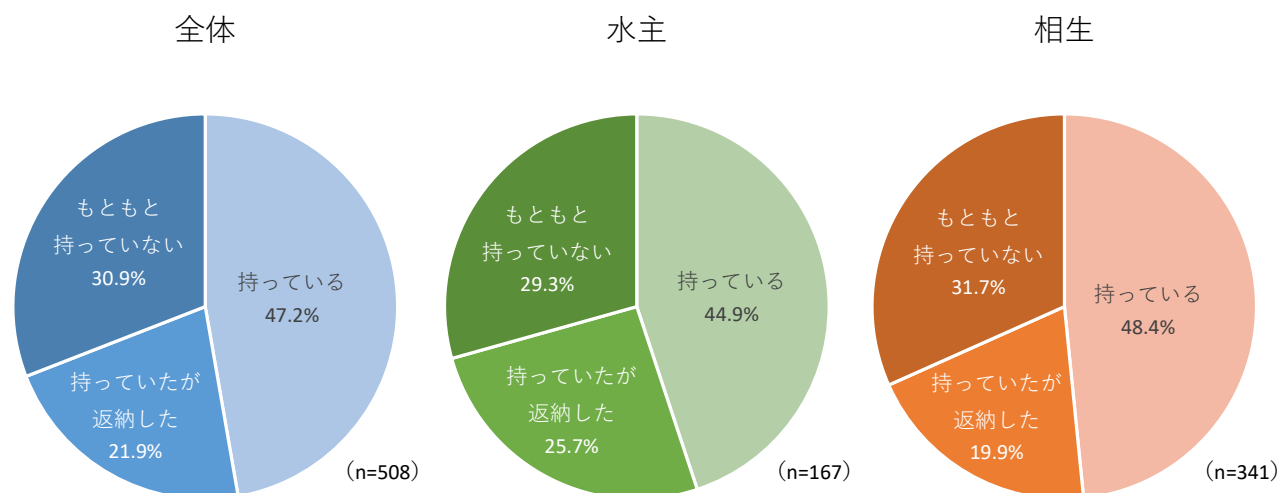
設問内容と検証項目

項目	設問内容		回答者	検証したい仮説等
属性	問 1	自動車運転免許の有無	全員	—
タクシーチケットの利用状況	問 2	実証期間中のタクシーチケットの利用有無	全員	—
	問 3	利用目的	チケット利用者のみ	
実証実験の具体的な効果	問 4	チケット利用時間に合わせた外出予定変更の有無	チケット利用者のみ	・ オフピーク時間帯に限定したチケットで、利用の平準化が図れるか。 ・ チケットによる金銭負担軽減で外出回数が増えたか、増えた場合はどのような目的での外出が増えたか。 ・ タクシー利用助成導入により送迎等の負担が減ったか。
	問 5	タクシー助成が始まる前の外出ひん度	チケット利用者のみ	
	問 6	外出回数の増加の有無	チケット利用者のみ	
	問 7	回数が増加した外出目的	チケット利用者のみ	
	問 8	利用に際しての乗り合わせの有無	チケット利用者のみ	
	問 9	実証実験前後における移動手段別の利用回数の変化	チケット利用者のみ	
	問 10	利用した感想	チケット利用者のみ	
本格導入された場合の利用意向	問 11	制度が本格導入された場合の利用意向	チケット利用者のみ	・ 本格導入された場合に一定の人が利用するか。
利用しない理由と要改善点	問 12	チケットを利用しなかった理由	チケットを利用しなかった者及びチケットを利用したが今後の利用希望がない者	・ 時間帯限定のタクシー助成でちゃんと利用できるか。 ・ 制度面で不便な点はないか。
	問 13	より利用しやすくするための改善点	全員	

②調査結果

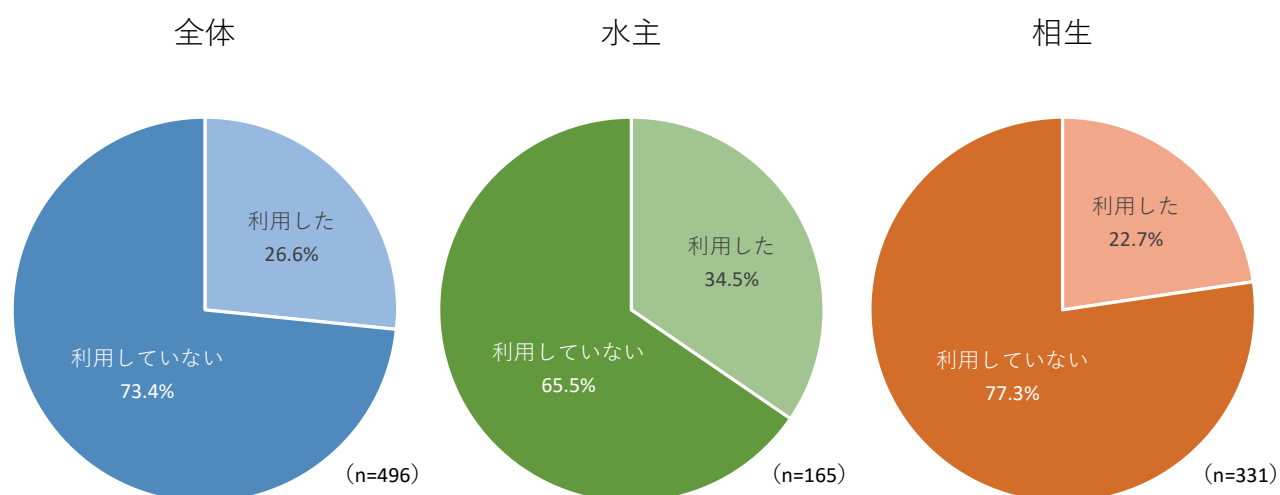
車の運転免許保有状況（対象者全員が対象）

- ・回答者の約3割は運転免許をもともと持っておらず、約2割は持っていたが返納している。

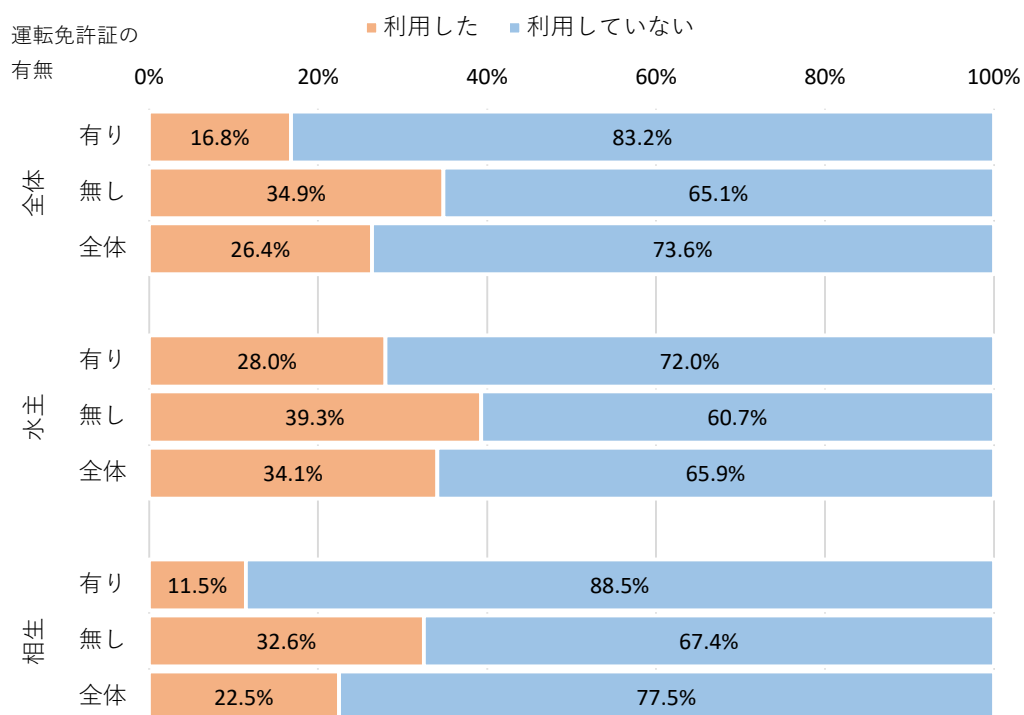


実証期間中のタクシーチケットの利用有無（対象者全員が対象）

- ・全体では、タクシーチケットを受け取ったものの、実証実験の期間中に利用した人は回答者の1/4程度に留まっている。
- ・利用した人の割合は水主地区の方が比較的高い。
- ・運転免許を保有しない人の方が利用した人の割合は高い。



運転免許の有無とタクシーチケットの利用有無

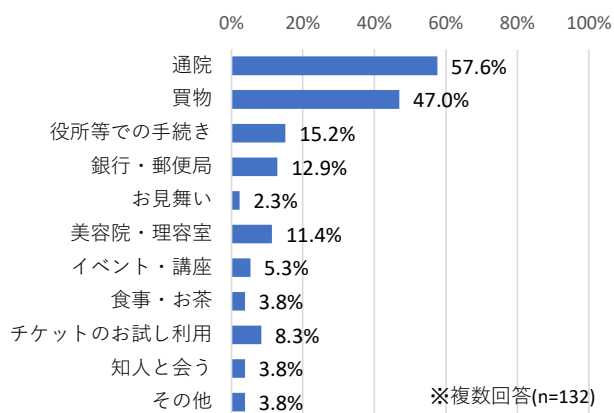


	運転免許証の有無	タクシーチケットの利用状況		
		利用した	利用していない	計
全体	有り	39	193	232
	無し	91	170	261
	計	130	363	493
水主	有り	21	54	75
	無し	35	54	89
	計	56	108	164
相生	有り	18	139	157
	無し	56	116	172
	計	74	255	329

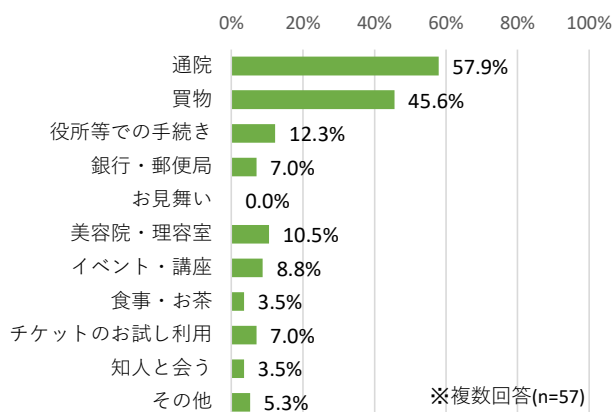
タクシーチケットの利用目的（チケット利用者のみが対象）

- ・回答者の多くが「通院」や「買い物」でタクシーチケットを利用している。

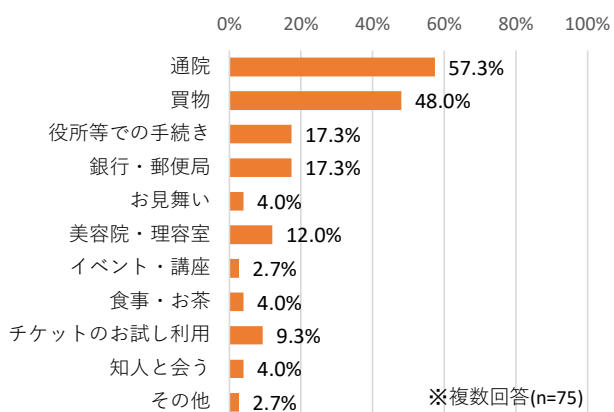
全体



水主



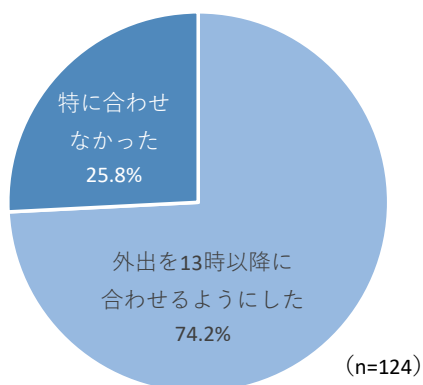
相生



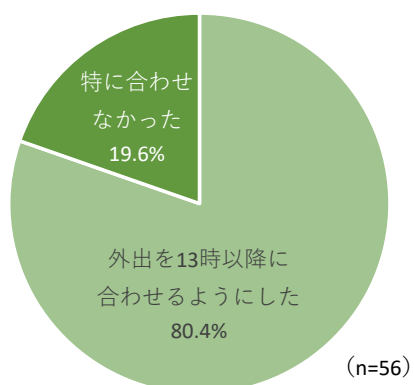
タクシーチケットに合わせた外出時間の調整（チケット利用者のみが対象）

- ・回答者の3／4程度が、タクシーチケットを使える時間帯に外出時間を合わせるようにしたと回答
- ・地区別に見ると、水主地区の方が外出時間を合わせるようにした人が比較的多かった。

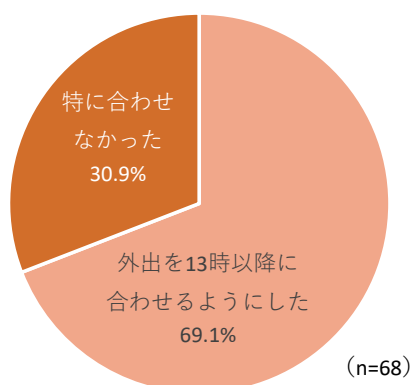
全体



水主

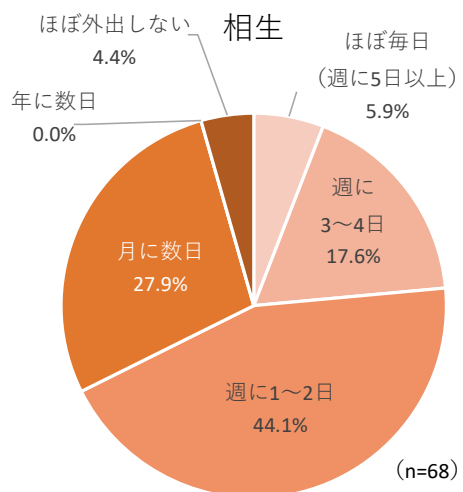
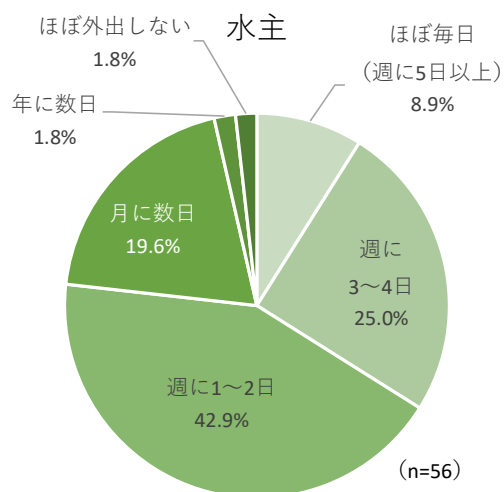
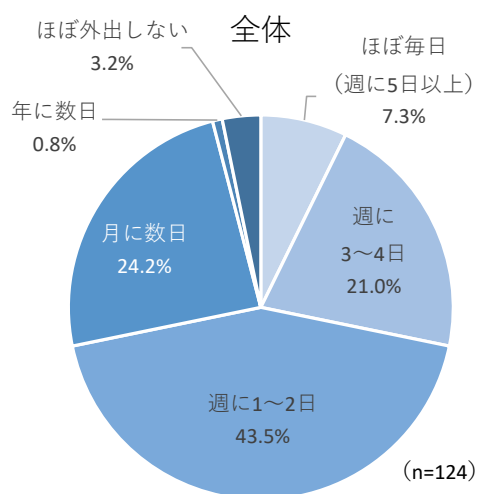


相生



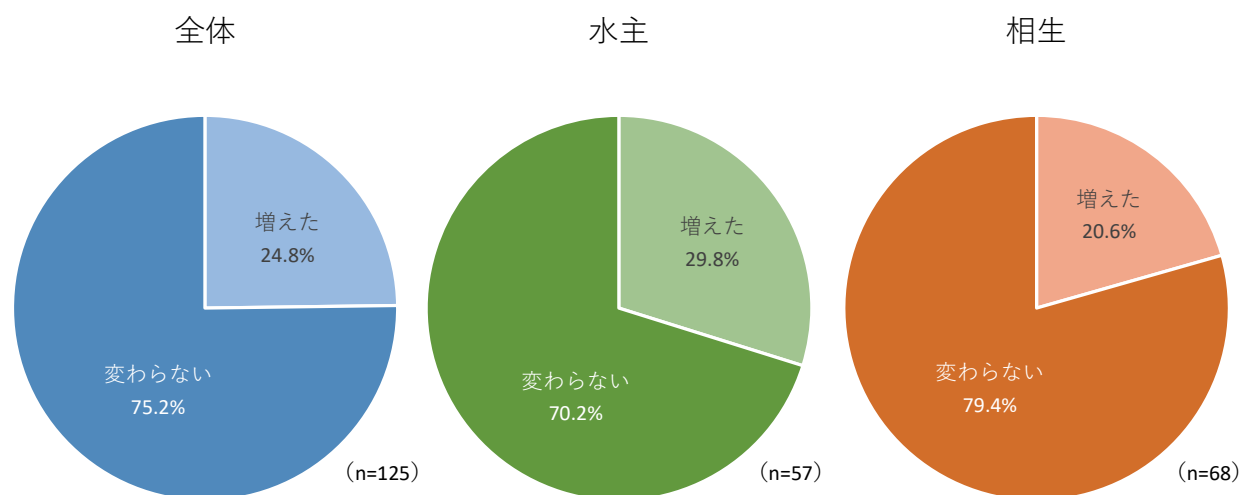
タクシーチケット利用開始前の外出頻度（チケット利用者のみが対象）

- ・週に1～2日程度の外出頻度の人が多かった。

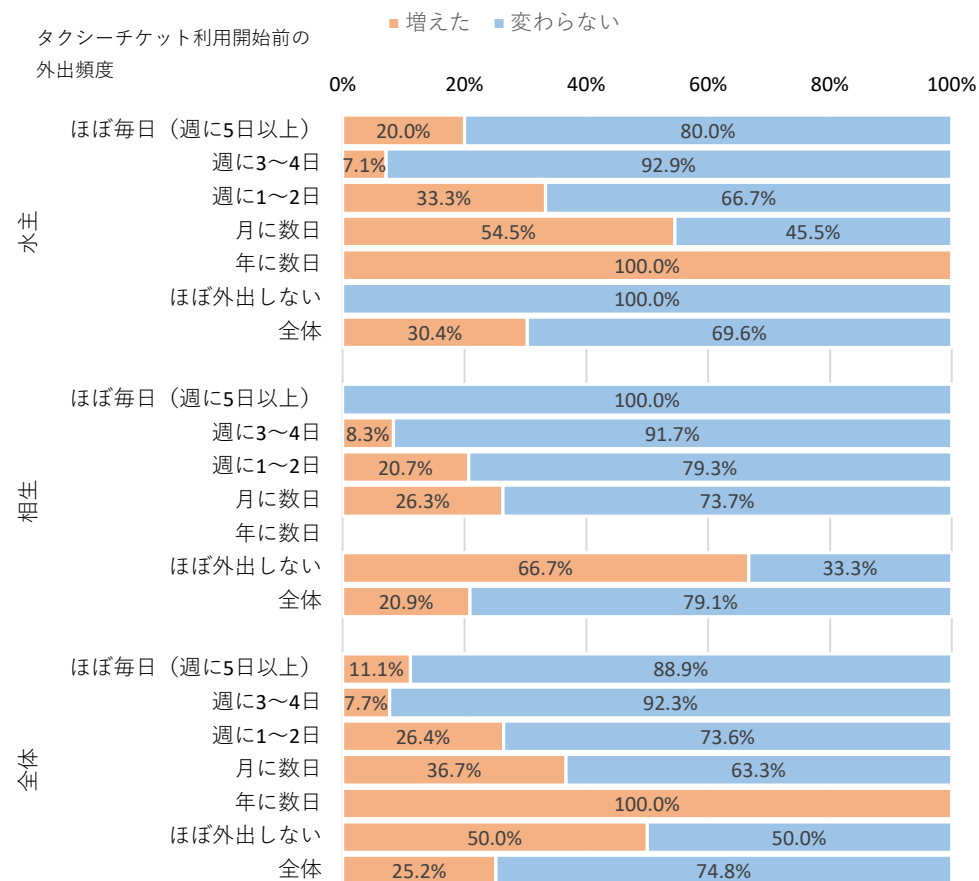


タクシーチケットによる外出頻度の増加（チケット利用者のみが対象）

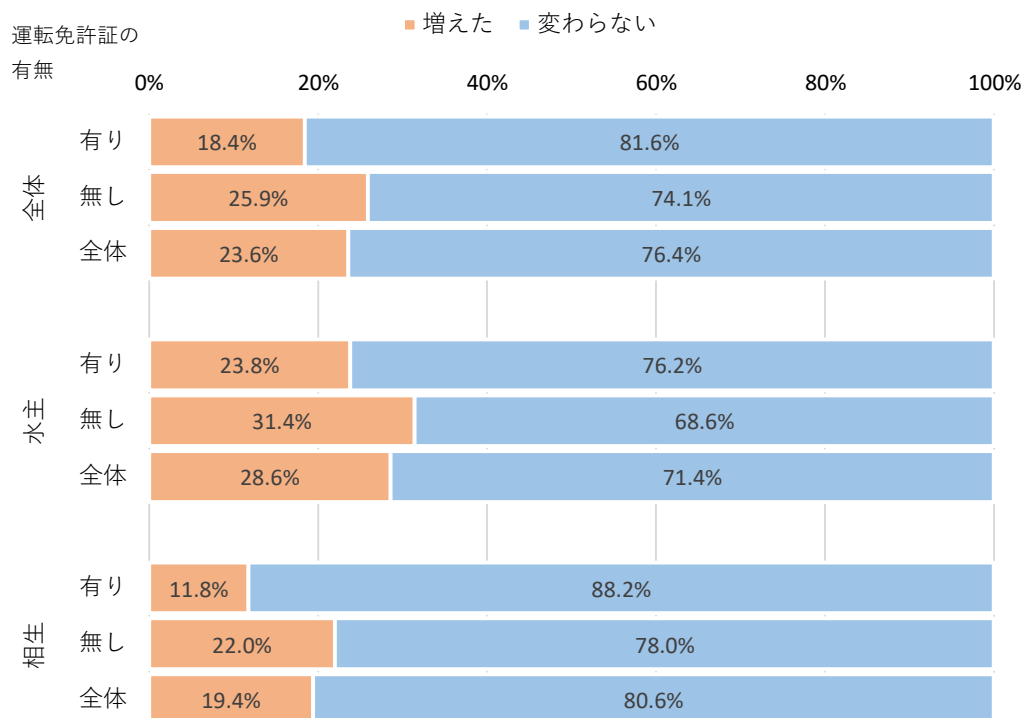
- ・タクシーチケットにより外出頻度が「増えた」という人は全体の1／4程度。
- ・タクシーチケット利用開始前の外出頻度として「週に1～2日」「月に数日」程度の人で外出頻度が増加している割合が高い。
- ・運転免許を保有していない人の方が外出頻度が増加している割合が高い。



タクシーチケット利用開始前の外出頻度とチケットによる外出頻度の増加



運転免許の有無とチケットによる外出頻度の増加

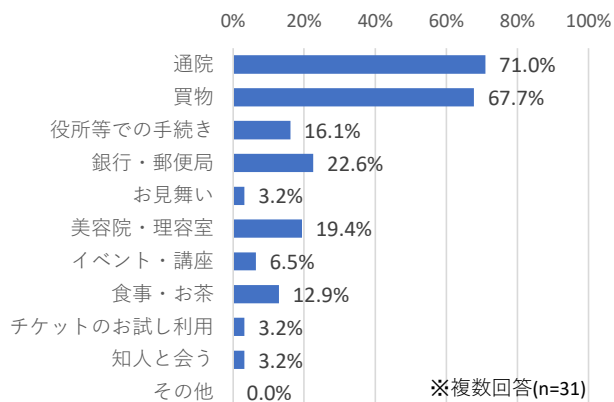


	運転免許証の有無	タクシーチケットによる外出頻度の増加		
		増えた	変わらない	計
全体	有り	7	31	38
	無し	22	63	85
	計	29	94	123
水主	有り	5	16	21
	無し	11	24	35
	計	16	40	56
相生	有り	2	15	17
	無し	11	39	50
	計	13	54	67

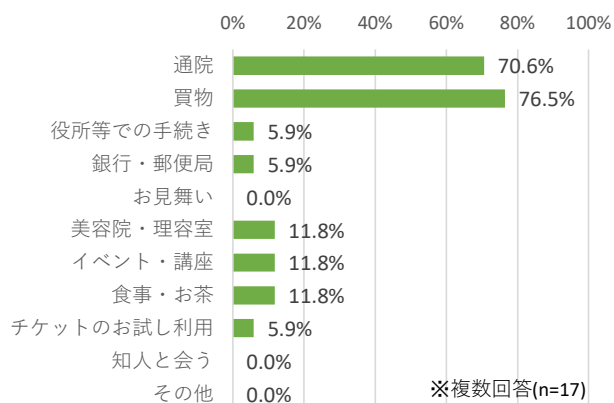
タクシーチケット利用開始後に外出回数が増加した外出目的（チケット利用者のみが対象）

- ・「通院」「買物」での外出が増加していた。
- ・水主地区では上記の2つの目的が多いが、相生地区ではそれ以外に「銀行・郵便局」「役所等での手続き」「美容院・理容室」といった目的も多かった。

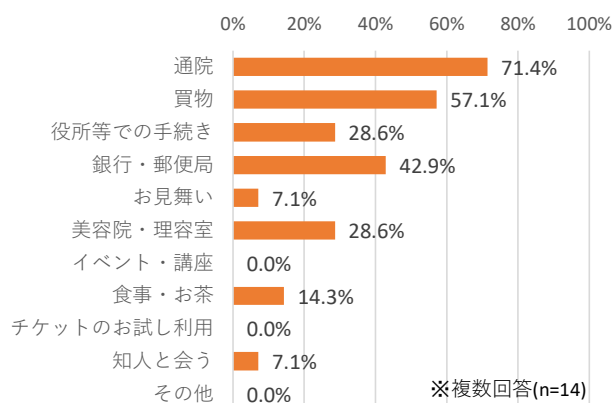
全体



水主



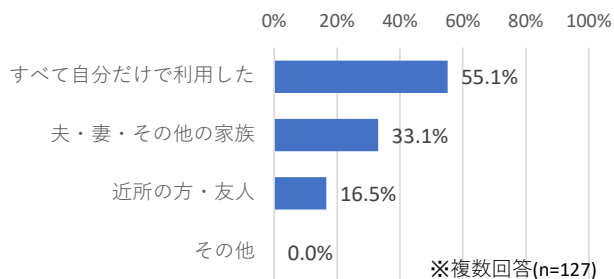
相生



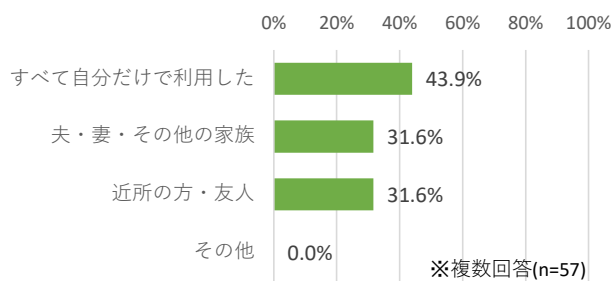
タクシーチケットを利用する際の同伴者（チケット利用者のみが対象）

- ・自分だけで利用する人が多かった。
- ・水主地区では「夫・妻・その他家族」以外に「近所の方・友人」を回答する人も多かった。

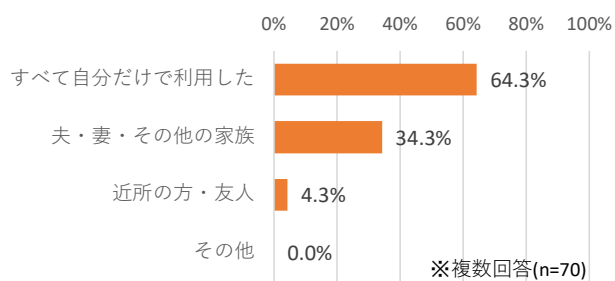
全体



水主

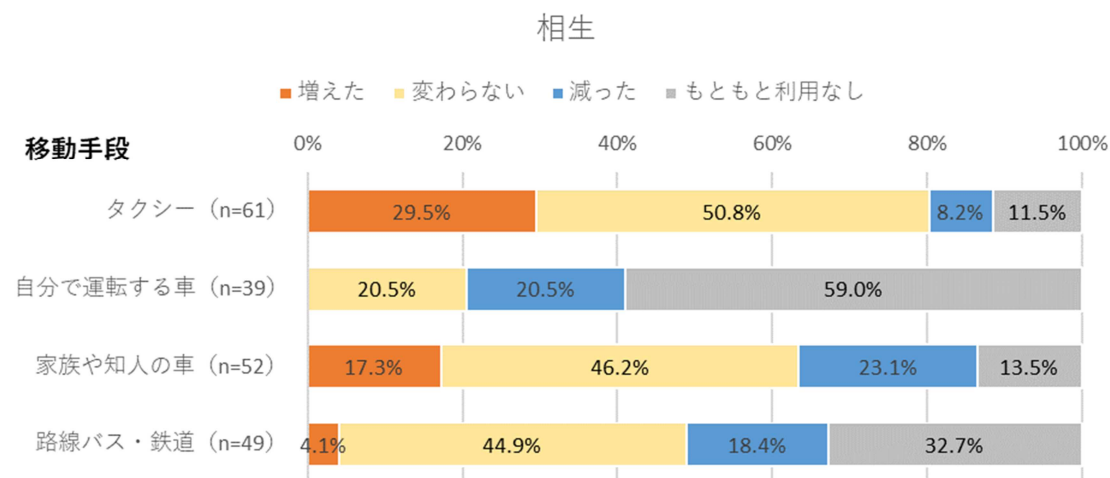
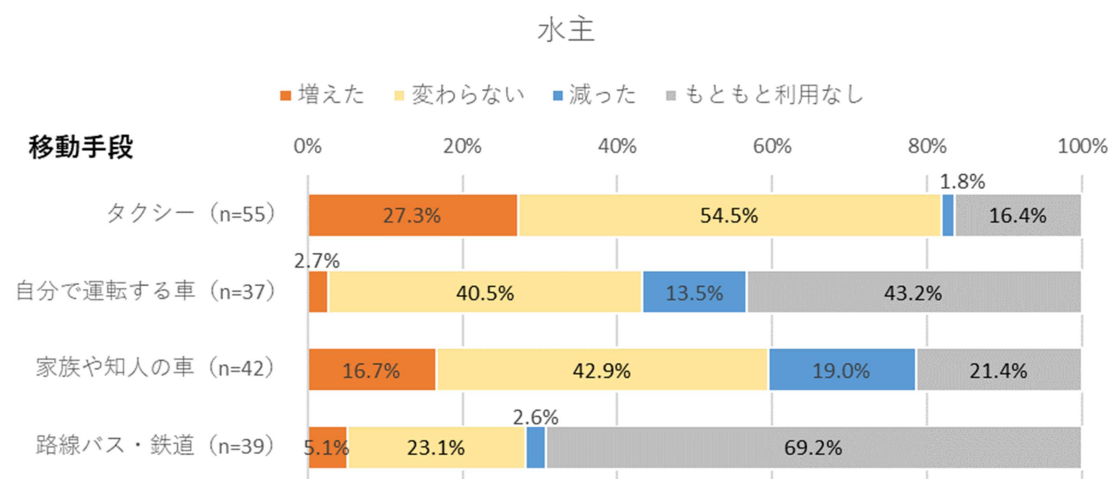
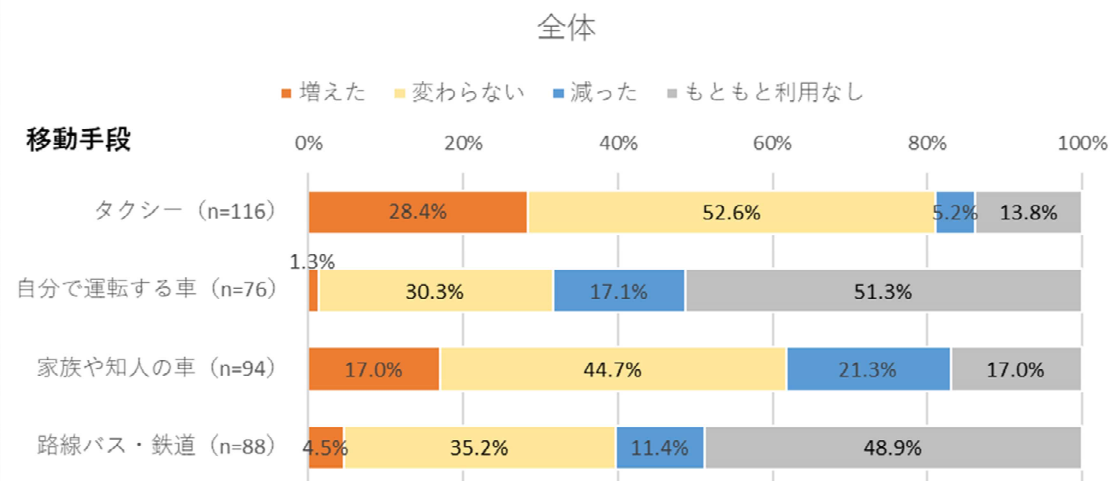


相生



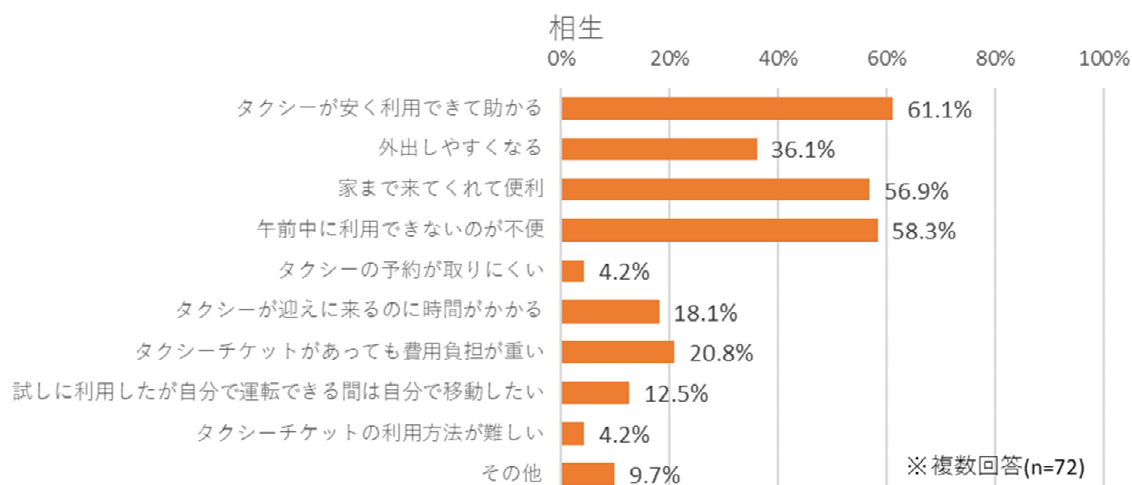
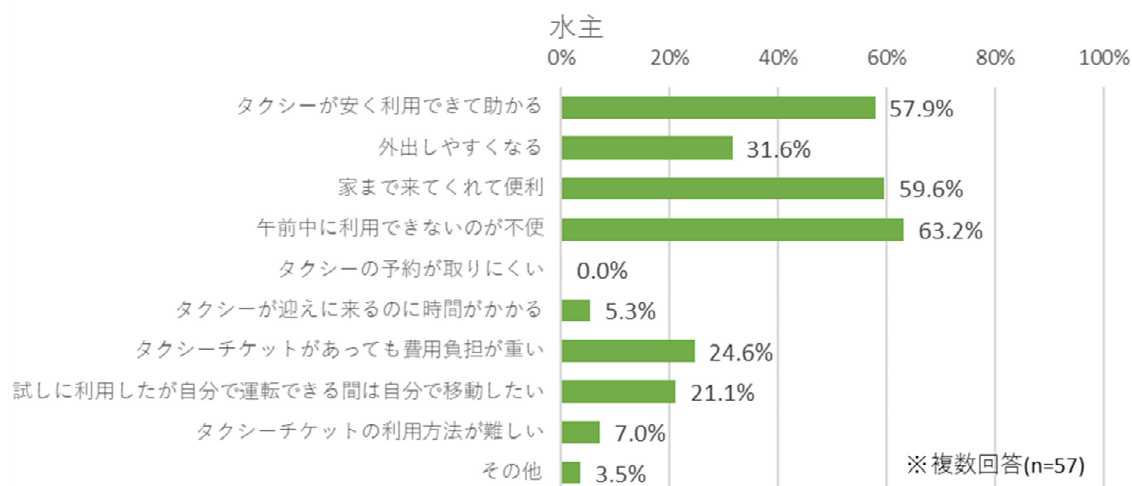
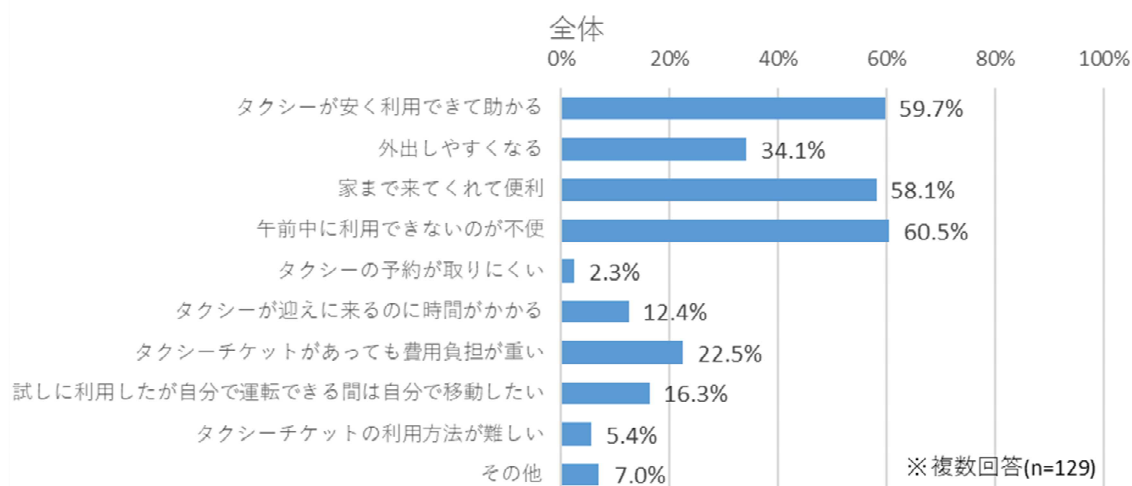
実証実験中の移動手段別の利用回数の変化（チケット利用者のみが対象）

- ・タクシーの利用回数は「変わらない」が半数程度で、「増えた」は3割程度であった。
- ・タクシー以外の移動手段を見ると、「自分で車を運転する」「家族や知人の車に乗せてもらう」は「減った」がそれぞれ約17%、約21%となった。



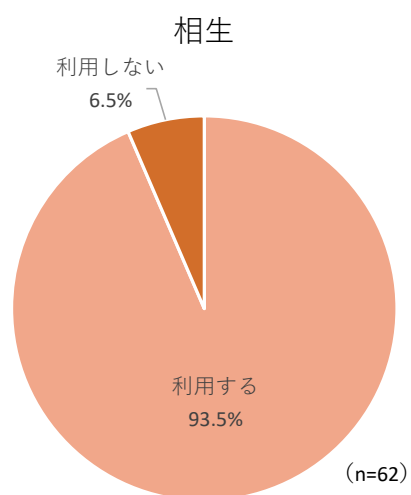
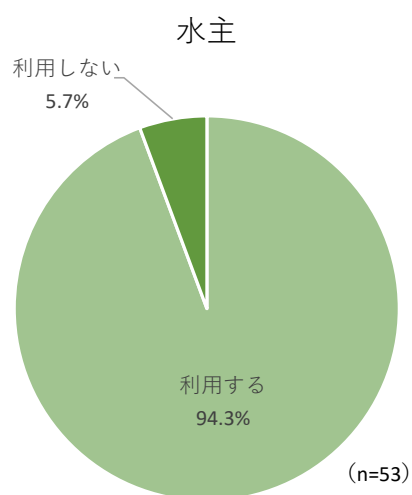
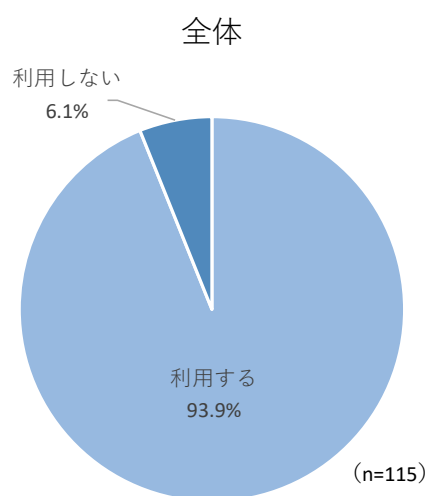
タクシーチケットを利用した感想（チケット利用者のみが対象）

- ・「タクシーが安く利用できて助かる」「家まで来てくれて便利」といった肯定的な回答が多くなった一方、「午前中に利用できないのが不便」といった回答も多くなった。
- ・少数ではあるが「試しに利用したが自分で運転できる間は自分で移動したい」という回答も一定数存在した。

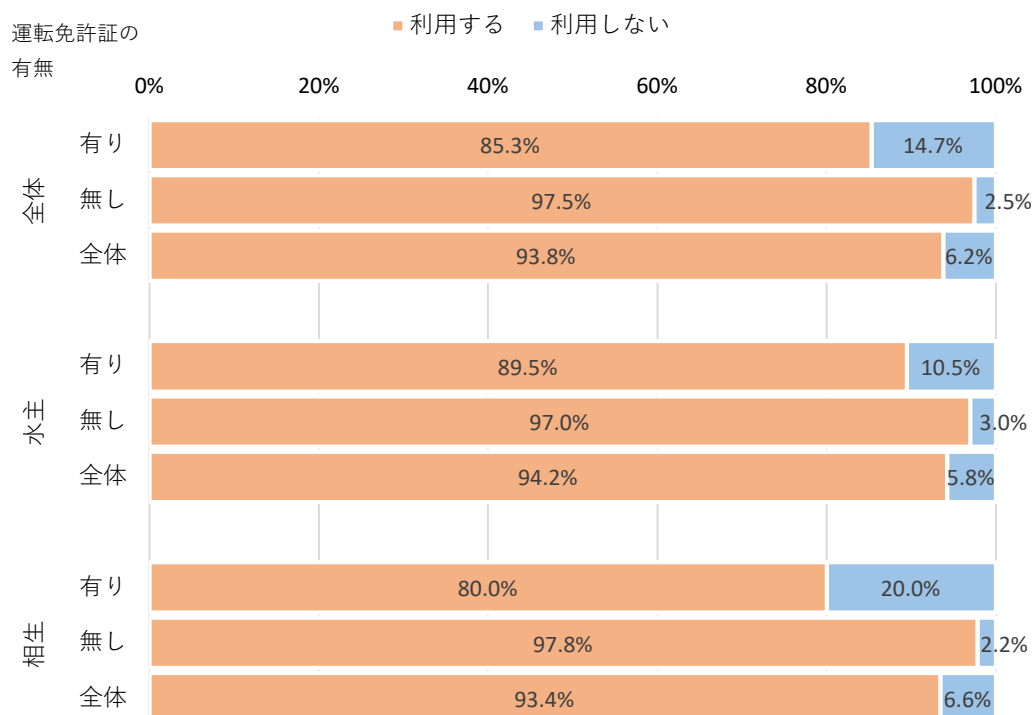


タクシーチケット制度が本格導入された場合の利用意向（チケット利用者のみが対象）

- ・本格導入された場合は、大半の人が「利用する」と回答した。
- ・運転免許を保有しない人の方が「利用する」の割合がわずかに高い。



運転免許の有無とタクシーチケット制度が本格導入された場合の利用意向



	運転免許証の有無	タクシーチケット制度が本格導入された場合の利用意向		
		利用する	利用しない	計
全体	有り	29	5	34
	無し	77	2	79
	計	106	7	113
水主	有り	17	2	19
	無し	32	1	33
	計	49	3	52
相生	有り	12	3	15
	無し	45	1	46
	計	57	4	61

タクシーチケットを利用しない理由

(チケットを利用しなかった者及びチケットを利用したが今後の利用希望がない者が対象)

＜チケット未利用者のみ＞

- ・「自家用車で自由に移動できるから」「家族や知人など運転してくれる人がいるから」「午前中に利用できなから」といった回答が多い。

＜チケット未利用者の内、運転免許証を保有していない人のみ＞

- ・「家族や知人など運転してくれる人がいるから」といった回答が多い。

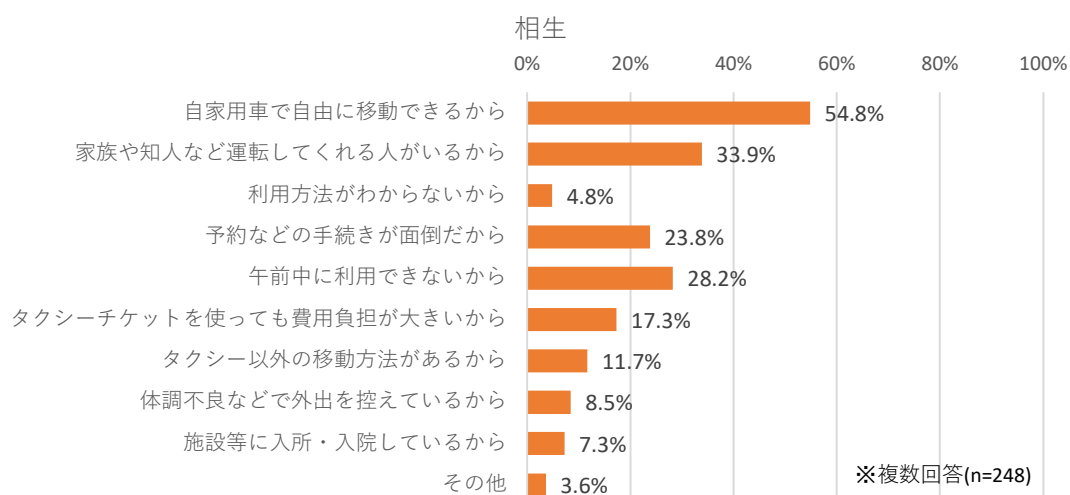
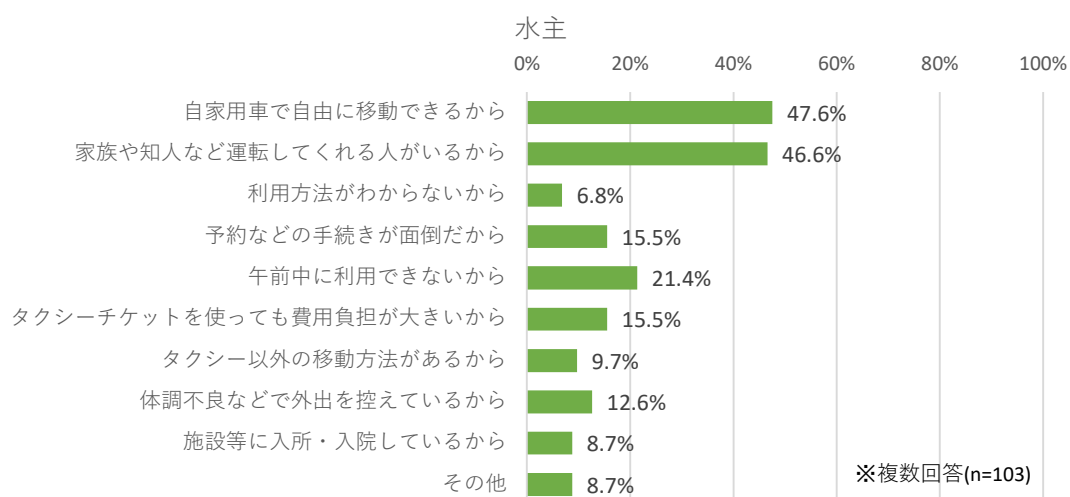
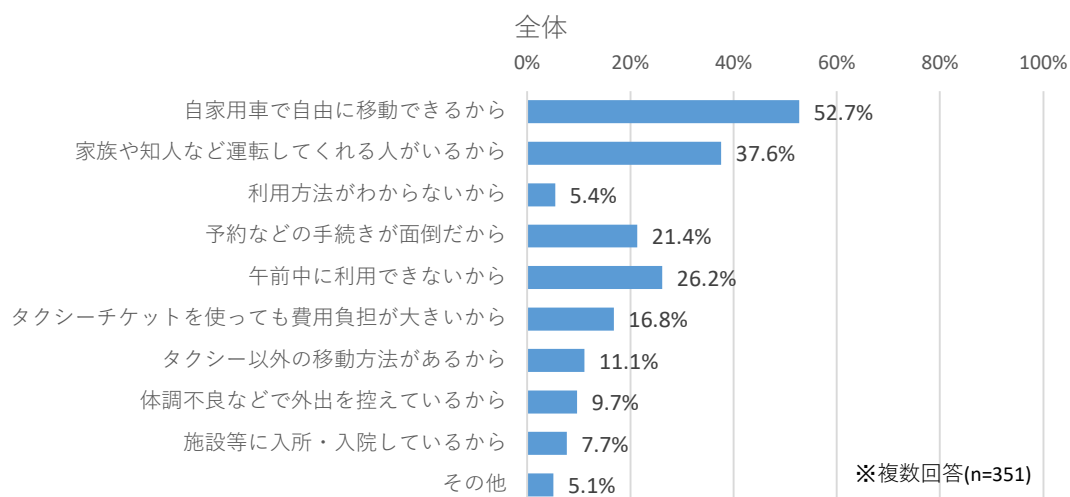
＜チケット未利用者の内、運転免許証を保有している人のみ＞

- ・「自家用車で自由に移動できるから」といった回答が多い。

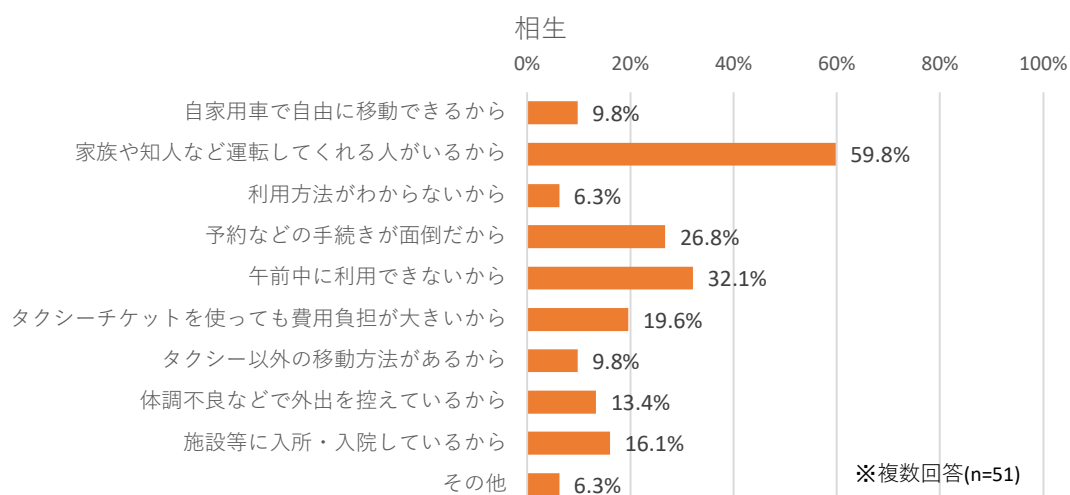
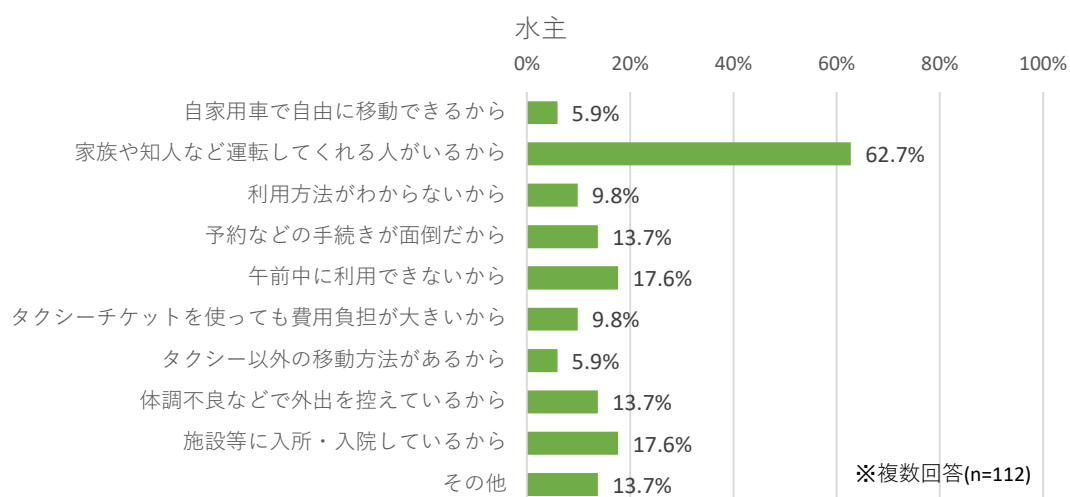
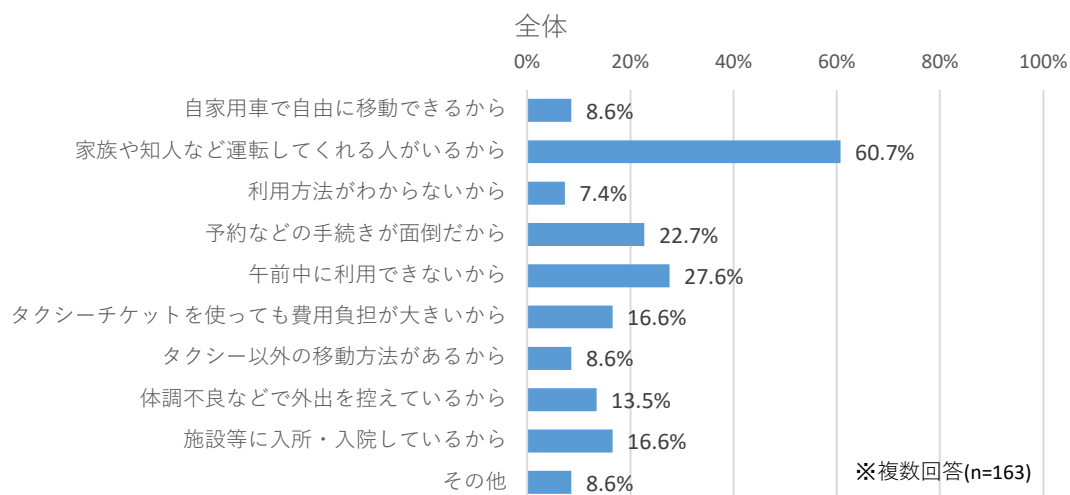
＜チケット利用者でタクシーチケット制度が本格導入された場合「利用しない」と回答した人のみ＞

- ・「午前中に利用できなから」「自家用車で自由に移動できるから」といった回答が多い。

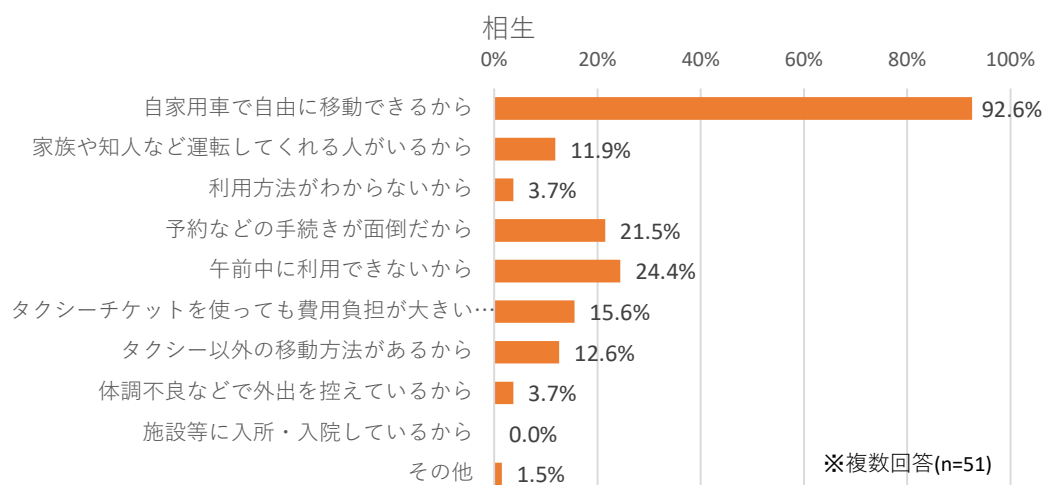
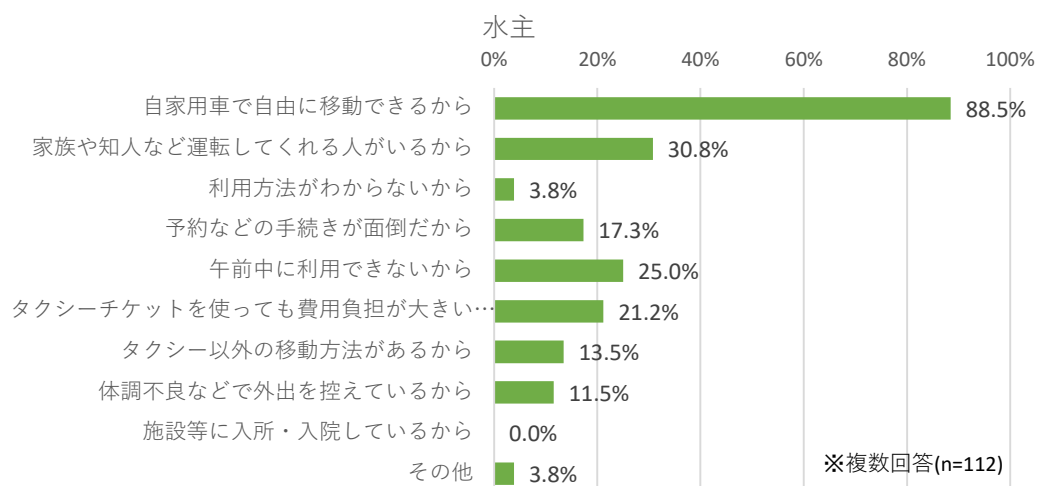
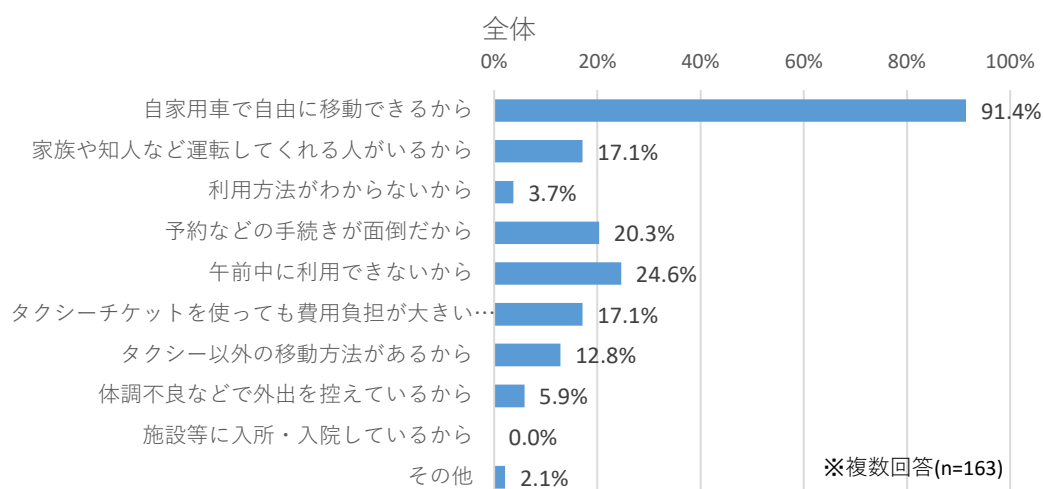
(チケット未利用者のみ)



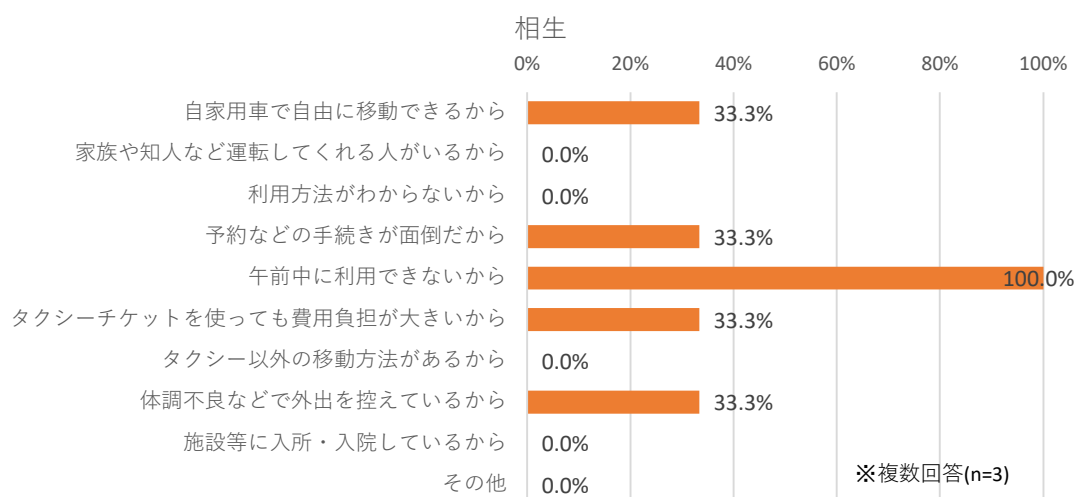
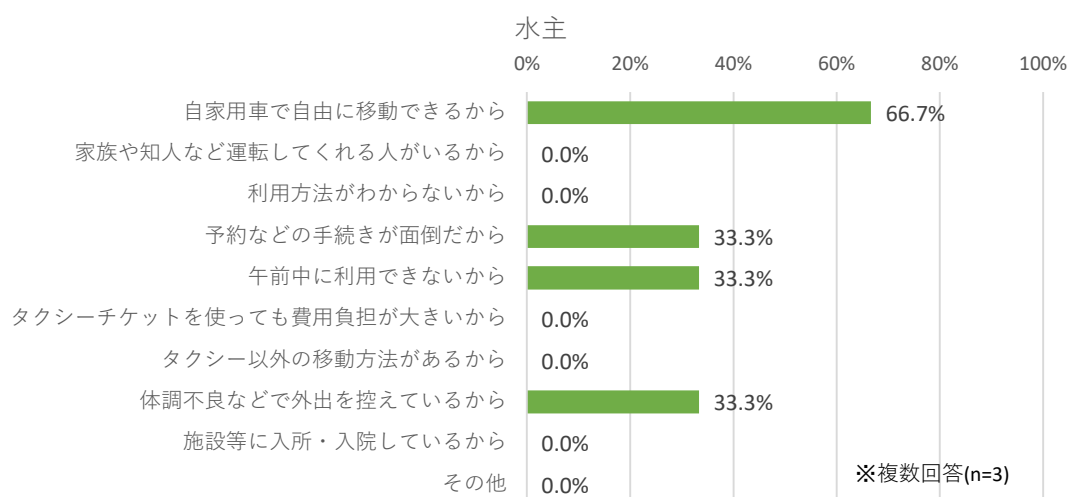
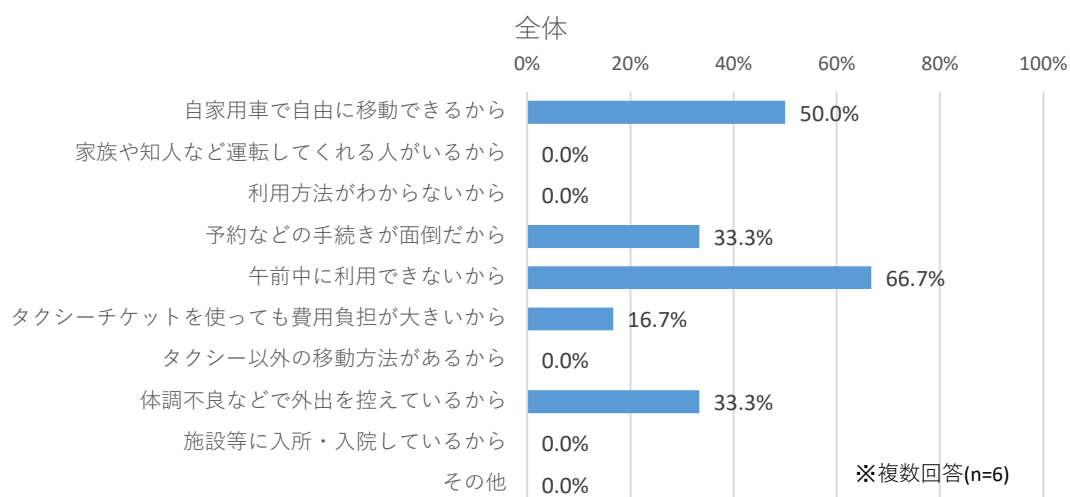
(チケット未利用者の内、運転免許証を保有していない人のみ)



(チケット未利用者の内、運転免許証を保有している人のみ)



(チケット利用者でタクシーチケット制度が本格導入された場合「利用しない」と回答した人のみ)



自由意見

●水主（チケット利用ありの人）

- ・朝も利用できたらよい。
- ・会員制にして相乗りをしやすくする。
- ・少し 100 円券を作ったらよい。
- ・今後も年間利用出来るようお願いする。

気軽に利用できる。利用したい時にいつでも利用できる。そのような制度を希望します。

午前中ばかりの病院予約なので、使用できなかった。タクシー会社の都合もわかるが、午前中利用できれば助かります。

午前中も使えば通院に使えるのではないのでしょうか（予約が午前も多いので）。

今は自分で運転できるから不自由ないが近い将来免許を返納した時は利用すると思うが利用できる時間帯は 24 時間利用できると助かる。午後だけというのは割と不便である。

今回の制度でも十分有難いと思いました。できれば午前中でも利用できればなお良いと思います。

時間がいつでも利用出来たらうれしい。

タクシー代、少し安く。

引田のほうでは会員制で 2,000 円とかいうのを聞いたのですがそれも良いのではないかと思います。

制度が本格化すれば、もう少し助成金額をアップしてほしい!!

通学の時とか学校に送った後バスを利用したい。朝 1 回夕方 1 回バスに来てほしい。

病院へ通院する場合予約が出来れば良い。

キャリーの利用が不便。

市のほうで色々考えて下さったら自分流にアレンジします。水主第 1 自治会（笠松地区で）一人ぐらしは私だけなので一人利用→アレンジして利用するプランを考えます。

●水主（チケット利用なしの人）

- ・時間が昼からだけというのが×。
- ・本人がのっていなければ家族でもそのチケットが使えないという事×。
- ・白鳥病院へ行くのなら片道しかいけない。

・午前、午後とかに区切らないで必要な時間に利用出来る様にする。
・何人かが集まって買い物に行く時、マイクロバスやタクシーがあると便利。買い物や外出は行こう！と思った時行けるのが一番いいが、年を取ると車にもいつまでも乗れないし、便利な場所へ住めば、いつまでも、一人暮らしの生活はきつい。

- ・病院など朝の予約が多い。
- ・用事がある時はいつでも移動出来ればいいなと思う。
- ・車の運転出来ないようになればタクシー利用したいです。

午前に出掛られると助かります。

午前中、何時から～何時迄ではなく、（午後とか。）自由に、利用、出来ると良いと思う。

午前中利用者に今回対象者の割合はいくらか？ある程度の割合の場合は、午前中利用の望外になるのでは！

時間を、指定しない方法だと、思います。

ある程度の自己負担をしての、例えば 500 円位であれば免許証返納した場合利用したいと思います。

病院・市役所など 1 人では行けないので老人・家族に負担が少しでも減少すれば助かります。何をするにも書類が多い為看護も老人の為大変です。移動販売車が好ましい店まで車がなければどこにもいきません。

1 日に 2 往復でも定期的に移動手段があれば大変助かる。

いつもお世話になり、ありがとうございます。下記、ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

- ・ 週 1 回水曜日の午後に、買い物目的（白鳥のマルナカ等）のマイクロバスを利用できればありがたい。
- ・ 希望者は予め自宅近くの乗降場所を市役所に連絡。
- ・ 乗車できない時のみ、前日までに市役所に連絡。
- ・ マイクロバスの乗車運賃は、往復で一律 500 円にして頂ければ幸い。
- ・ 付き添いの家族 1 名は無料。

コミュニティバスなどがあれば良いかなと思います。

安全な無料システム（自由に使える）。

現在自家用車で移動可能だが、近く返納も考えている。運転できる家族もいないので、買いもの、通院が一番困ると思うし、不安です。1 日に 2 往復でも定期バスがあれば嬉しいです。

私も歳ですので車の運転も、もう限りが有ります。何か別の方法を考えて頂けたらと思います。よろしくお願いします。

巡回バス市民バスを発行して市民は無料で（あるいは 1 回 100 円くらい）利用できる様な制度。

毎日とは言わないけれど、小さなマイクロバスの様な車で時間表を作って利用出来たらどうかな。そう言う声を良く聞きます。

乗り合いタクシーなど、前日に予約して利用するバスがあっても、停留所までが遠いので、家の近くで乗れる方法があれば良いと思う。

タクシーチケットの使用方法、費用などが具体的に分かれば、利用しやすくなると思う。

タクシーチケットは、利用すれば良かったのですが、いろいろな制約がある為、利用しにくかったです。いつでも利用出来ると良いですね！

チケットを手にした時は、単純にアルコールを含む外食時に使いたいと思っていたが丁度コロナ猛威の時では叶わなかった。終盤に近づき、少し焦ったが、終始交通手段に困っていないのに、タクシーを使うことに抵抗を感じた。

やはり、本当に困っている人に手厚く助成してもらいたい。申請制度でも良いのではないかと思う。今は必要なくても、いつかは自分も困る。困った時には自分で又は民生委員さんの手を借りて制度を使いたいと思う。

随時申請制度 ・ 年 1 回程度、 “必要、不必要、かの問診票みたいなのを郵送し、必要とあれば行政が判断してチケット等の助成。

現在は、車が運転できるが、車が運転できなくなった時は、補助事業があれば良い。

今の所は、自家用車で利用しないでも良かった。もったいないので本当に困っている人に使ってもらいたいです。

今の所は自転車に乗れるので、あまり考えた事がないがもう少し自由に使えたらと思います。

今回は、まだ自分で運転ができていたので利用しませんでした。何れ、利用させてもらうような時がくると思います。改善を重ねながら、こうした仕組みが継続されるように期待しています。

一ヶ月間タクシーを使用しましたが早く病院にと午前中タクシーを使用しました。

●水主（チケット利用不明の人）

月に何回か自由に時間を取ることが出来るとよい。
昼からだけ、本人がのっていないとだめとかいうのは×。

●相生（チケット利用ありの人）

1 日中利用できたら便利です。

1 日中利用出来る方が良いと思います。病院は午前中が多いので・・・。

タクシーは午前中であれば出やすいから年がいくと午後はちょっと出にくいから、なるべく午前中が良いと思います。勝手な事書いてすみません。

午前中に利用したい。

午前中に利用できないのが不便です。出来たら朝から利用出来たらうれしいです。
先日タクシーチケットを利用させていただいてありがとうございました。

午前中も利用できれば良いと思います。

時間制限をなくす。

自分で好きな時間に利用が出来るようになると良いと思う。

先月タクシーチケットをお送り下さりありがとうございました。全部使用しましたが買物はやっぱり朝が良いと思います。残念でした。食品等を買うのは、やっぱり朝。勝手な事ですすみません。よろしくお願いします。

平日の午前中から利用できれば利用しやすい。

- ・もっと金額を増やして欲しい。
 - ・バスのカードみたいに使いやすくしてほしい。
 - ・もっとわかりやすくなったらよい。
-

5 千円位のチケットを頂ければもっと遠くへ出掛けられて色々な所へ行けて良いと思います。

タクシーチケットがあれば安く利用できまた利用しやすくなります。あたりまえのことですが。

タクシーチケットを使って、1000 円負担したら行けるかなあと、思っていたんですが、往復 6,000 円も払い、びっくり。相生から東かがわ警察に免許証更新で免許証もらいに行ったのですが、土、日休日なので家族に連れて行ってもらうには、仕事休みを取らないといけないので、タクシーチケット使用しましたが、費用負担大きくなってびっくり。体調不良で、自分で運転するの控えているので。

タクシー費用次第。

もっともっとチケットが欲しい。必要でない人もいるでしょうが、私共のような家族は非常に有難い。本当にありがたい。もっともっと、せめて今の倍は欲しい。よろしくお願い致します。家内のアンケートは同意見ですので省かせていただきます。

家族夫婦であれば夫のチケットも妻が使えるように出来ればいい。夫が出ない人だから、チケットもらう訳にはいかなかった。3000 円位だと、1 回買物に往復出来た位でした。免許もたない者には、外へ出るのは、タクシー代は、年金生活には何度も出られない。段々家の中ばかりになる。

金額が少ないので三本松や白鳥、香大、など私の行く病院では費用が少ないのでチケットはつかえなかった。(片道位)だから家族や知人にお願いしてその人にガソリン代として(日当など)1 万位いつも私はあげています。香大病院は月に 1 度でチケットのつかえる日数がしんさつと合わずつかえなかった。これからは 5 ヶ月位あれば片道でもつかえたと思いました(8 月 9 月で病院へ行く日がつかえなかったです。)これからは商品券などをいただいたら、送ってくれた人に御礼にあげられて良いと思いました。

今回は、買物だけに利用しましたが、これからは、役所の手続き通院、銀行等への移動にもタクシーを利用するつもりです。自家用車をもっていたころの維持費と、タクシー代との比較をしても高いものではないと思っています。路線バスも、鳴門バスと、大川バスの乗換えの連絡がうまくいかないときが多いので悩んでいます。補助金のついた回数券等を発売してくれたらと思います。

徳島県板野の知人は、1 年に 6 千円分のチケットが出るそうです。大変有難く 1 人暮らしでも何回も買物に出られて大切に使っていると、話してくれました。詳しい事はわかりませんが、羨ましい事です。

毎月何枚といただければ利用が便利で有難いです。

利用度の増大。

- ・年よりは病院行くのにこまるので週に 1 回ぐらい利用したいので市の方で 1 人運転できる人をやとってくれていつでも利用出来るようにしていただきたいです。
 - ・今回のようにタクシーチケットを利用出きたらうれしいです。
-

地区をわけてマイクロバスが利用出来たらいい。

東かがわ市でも、他の地域では定期的にタクシーやバスが運行されて、駅や、スーパーマーケット、医院などへ行ってくれる所がある、という話を聞きました。相生地域でも、そんな運行があればいいと思います。ささやかな暮らしでは、どうしても外出を控えるようになってしまいます。

利用させて頂きありがとうございました。今後車に乗れなくなったら、やはりタクシーを利用すると思います。でもお金がからんできます。不便を感じる様な地区は、小さな車を(5~6 人用位)の車を走らせて頂けたらいいなあ~と思います。買物しても一人の力では遠道になると歩けませんので・・・。過剰サービスは止めて下さい。税金の無駄遣いになります。

7 日に 1 度県道にきてほしい。

雨の日でもタクシーだと便利で助かりましたありがとうございました。

●相生(チケット利用なしの人)

- ・いつでもタクシーにのれるように。
 - ・お金がかかるから。
-

- ・将来、免許証を返納すれば利用したいと思います。
 - ・出来れば午前・午後とも利用出来れば良い。
-

- ・通院が午前中予約なので、午前中利用可能と追加料金がいらないようにして頂きたい。
 - ・午前と午後各 2 回位、福祉バスを走らせて、病院や買物に利用できるようにして頂きたい。
-

- ・午前中なら 8 時~12 時、午後なら 13 時~17 時など、利用できる時間帯を増やせば?
 - ・もう少し、費用を負担(増額)すれば?
-

いつでも自由にのりたい。

タクシーチケットで言うのなら自分が使いたい時 1 日中自由に乗れるようにしてほしい。

どの時間帯でも利用できる方がよい。

もうすぐ、返納するので、1 日自由に利用できる様にしてほしい。

一日中、自由に使用できることが大切。免許証返納後が大変重要であり、又必要なことも多くなる。この制度は大変必要であり続けて欲しい。通院や買物など自立することが元気に連がる。

夏のシーズンは外出するのは午前中が良いです。私は車に乗れるので不自由はないですが手足を痛めた時でも病院とかは午前中が良いのではと思います。

決められた時間等では利用しにくいし、行きたい所へは、費用も足りないから。

午後からだけでなく、どの時間帯でも利用できる方がよい。

午後に限らず、午前中も利用できる方が助かる。

午前中にタクシーチケットが利用できない。病院は午前中によやくチケットは利用できない。

午前中にも利用できたら今は夫が運転するから利用していないが利用するようになるかも。

午前中に利用できなければ片道だけか使用出来ない事が多い。費用の負担が大きすぎる（近距離の場合）

今は運転できているけれど出来なくなったら利用すると思う。午前中にも利用出来れば良いと思う。

私達が利用するのは主に通院と買物が主なので午前中に利用出来ないのがダメである。

時間制限のないタクシーチケットにして欲しい。

自由に時間がとれない。病院行くのは午前中で昼から行かない。¥3000 では白鳥病院往復できない。

車の運転免許を持っていなかったら利用したと思います。午前中に利用できるようにしたらよいと思う。

終日利用出来れば良い。

朝から利用できればよかった。少し 100 円チケットもあればよかった。

朝使用できる様にしてほしい。

必要無いもう少し先で免許返納したら時間関係なく利用出来れば良い。

病院、買物は朝が主です。

病院に行くのに一番困っているので、午前中に利用出来る制度が良いと思います。巡回バスを走らせてくれれば、助かります。料金を無料にするので無くて均一料金を支払う様にすれば良いと思います。

病院に行くのに午前中利用したい。

病院へ行くのは、平日の午前中なのでチケットを利用できなかった。午前中に利用できるようにして欲しいです。

平日の午前であれば同伴して利用できたと思う。

利用可能時間を午前 10 時ぐらいからにしてほしいです。年中いつでも利用可能な助成制度が（福祉バスのような）あればいいなあと思います。

利用時間に制限なく使用出来る用に。

-
- ・負担が少なくなれば良い。
 - ・帰りがこまる。お金がいる。
-

3000 円の券があっても、1 回又は 2 回タクシーに乗っても 2 割位負担金であればよい。
3000 円あっても引田駅 1 回往復したらなくなるので残念です。

タクシー券全額使用自由に支払出来ないため。

チケット 3000 円では中途半端であり、通院に使用（往復）しようとしても、自己負担が大きい。

金券、どこでも使える物にしないと役立ちがない。本人以外でも親族に使える様な券かお金がやはりよい。

高齢者へのタクシー割引券。

無期限。支払いに現金が発生しないチケット。（釣銭は、いらない）

利用者負担として年金天引き（少額希望）、県、国などの補助制度があればよい。
車は自動運転車でドア TO ドアの送迎がよい。

75 歳以上対象も必要だと思うが、年金関係なく病気の為運転出来なくなった人も対象にしては。
一人で行動出来ない人は、付き添いの人のチケットも欲しい。

要介護 3 でタクシーには乗れない。乗るには付き添いがなければいけないから。付き添いと一緒に乗れば
いいのだが。

本人だけでなく家族の者ともいっしょに使用できればいいのですが、1 人で乗るのは不安なのです。
体が不自由なのですから。

3000 円とか 5000 円とか先にチケット買って誰でも使えるようにした方がよい。
名前を書くのがめんどくさい。

チケットを買って、自由に乗れること。

- ・学童送迎バスの空き時間の利用は出来ませんか？
 - ・福祉バスの資格証をもっていても活用が分かりにくく使った事がなく、引田～坂元迄は不便な所です。何かいい方法を考えていただければと思います。
 - ・鳴門からのバスの利用もありますがそれを引田迄でも使える様にしてもらっても少しは助かるのではないかと？車に乗れなくなると、不安です。
-

- ・乗り合わせとし、時間を決めた定期便とする。
 - ・乗降場所を指定する（集会場等、人が集まりやすいところ）。
 - ・利用者が多い時は臨時便を出すか台数を増やす。
 - ・費用は一律 500 円前後とした割安設定とし、不足は市が負担する。
 - ・利用者が皆無の場合があるので利用者からの要請待ちの制度とする。
-

さぬき市のような巡回コミュニティバス（スーパー、病院、薬局など）が主要拠点を走る。そこから集落内を走る電気自動車（引田で実験運行したようなもの）で家まで行く。バスも電気自動車も巡回か往復運行してもらいたい。

タクシーもいいのですが東かがわ市で地区の方へ行けるようなバス（市のバス）があればいいなと思います。

各地域に、1 箇所～2 箇所、停留所を設けて小型バスを運行して欲しい。

交通弱者向の巡回バスがあれば乗り易いと思います。

高齢化・過疎化の真只中、買い物難民となる高齢者の多い現状に今更タクシーチケットの実証実験等遅きに無意味。市議会議員（即刻）削減してでも直ちに買い物等利用のコミュニティ車輛を週2乃至3回程配車するべきである!!市民殆どが同じ考えであると思う!!

今はまだ自分で運転出来るのでいいのですが80才をすぎると不安はあります。
希望ですが学童の送迎バスの空時間、午前と午後の空時間に買物だけでも使える様になりませんか？
あと鳴門からバスが通っているのを利用しようと思いますが前（→平成30年交付）に福祉バス資格者証を手続きしたのも使いづらく1回も使わず年々不安になります。（もっと説明書の分かりやすくなる事を考えてほしい）コロナ禍の中今は、大変です。

今は自家用車ですがもう少しすれば車を運転出来なくなればタクシーか何か移動方法を考えなければと思っています。市のミニバスがあればいいなと思うのですが・・・。

三木町みたいなコミュニティバスがあれば若い人も、年よりも乗れる物がいいと思う。

市で巡回バスの導入。

巡回小型バスのようなものがあれば、良いと思います。引田まで出かける事が出来ないという声があります。

電話1本ですぐきてくれるタクシー東かがわ市ならどこでも無料で何回も常に使えるもの。

東かがわ市坂元に住んでいるが、タクシーチケットもよいが、坂元～引田駅の間、徳島バスの割引きを利用したい。（引田～丹生間はすでにある）徳バスがあるので利用したい。

東かがわ市内を何回も無料で使えて、電話1本ですぐきてくれる介護付タクシー制度。

1日町毎に一日に2回ぐらいバスを主要道路だけでなく細い道も巡回して欲しい。

三本松駅から白鳥温泉までしか行かないのはなぜか。相生地区川股坂元方面へも来てほしい。

自由に使える用に。

- ・受け取りを分かりやすくして欲しい。
 - ・制度を分かりやすくしてほしい。
-

ガソリン代の補助がたすかります。

本当に、買い物や医者通いに困っている人がいるかどうかを、民生委員の人等が、調べてそれぞれに対処してはどうかと思う。

この度は車の運転が出来るので利用しませんでしたが無免許を返納した後のことを考えると不安です。助成制度はとても有難いです。利用させてもらいます。

バス券にしても引田からでは相生からは利用出来ない。欲を言えば商品券にして下されば嬉しい。

一家族の手紙は1人1人に出すのをやめて、税金のむだ使い1つにまとめて出すようにして下さい

近くにバス停があれば夜間に外出したい。

高齢になっても運転出来る人はボケ防止のため一生運転すべきです。事故は若い人が多いです。運転出来ない人はタクシーが一番です。費用がいるのは当然です。

高齢者なので自動車免許返納が近いうちに起こります。山間部に暮らしているとタクシー代も高額になりますのでタクシーチケット制度導入に期待しています。

今のところ自分で移動出来るからお買物に利用しても距離があるから帰りが困る。

今のところ自分で運転するので必要ない。もっとみんなが利用出来る方法を考え下さい。ガソリン代の補助をして欲しい。

今後の公共交通施等に反映させる為・・・！よりも、生活困窮者への給付金を考えてほしい！

私達、老人に対しての助成制度は、これ以上はいらないです。

助成制度は、いらないです。国、県、市に対して、私は、感謝しております。

足が不自由ですから家族の運転する車以外は出かけません。

本人が使えなくても、親戚、身内でも利用できる。お金や商品券が絶対良い。

●相生（チケット利用不明の人）

いつも、お世話になっております。

今回、タクシー券頂いたのですが、運悪く入院、九月三十日退院で残念ながら、利用できていません。

もう少し、長い期間があれば利用でき残念です。事情の許す限り午前中の利用、お願いしたいです。今後共、よろしくお願いします。

午前中に病院にいけないため、午前中にタクシーチケットが利用できない。

病院へ行くのが、午前中なので不便。1日自由に利用できる様にしてほしい。

だれでも乗れる。定期的に運行している小型バスがあれば良い。

タクシーチケットはまだもらっていません。

4. タクシー事業者ヒアリング

サービス供給側のタクシー事業者に対してヒアリングを行い、供給サイドへの影響やサービスを拡大する場合の課題等を把握した。結果は次に示すとおり。

タクシーのサービス供給の観点から
①タクシー事業の営業収入への影響（新たな利用者が出て収入が増えたか）
<A 社> ・チケットによる営業収入への大きな影響はなし
<B 社> ・営業収入が増えた ・今まで利用されなかった新規の客の利用があった
<C 社> ・2・3 名の新規利用があった
②生産性への影響（利用時間帯を限定したことによる需要平準化の効果）
<A 社> ・特になし
<B 社> ・利用時間を限定しないほうがいい ・限定したことによって利用客が少ない
<C 社> ・もともと介護サービスの空き時間を活用しておこなっており、そこにチケットの予約を当てて運行した
オペレーションの観点から
①運転士の負担（乗降場所や乗降時刻の記入、その他のトラブル）
<A 社> ・必要事項をチケットに記載する手間はあったが大きな負担はない
<B 社> ・特になし
<C 社> ・特になし
②事務の負担（予約時の申し出、利用時間帯、配車、チケットの精査・市への報告事務）
<A 社> ・チケットの精査に大きな事務負担があった ・予約等の受け付け負担は特になし
<B 社>

・チケットの記入漏れの精査など、確認のために事務処理の時間がかかる ・なるべく速やかに処理できるようにチケットの記入方法を見直したほうがいい
<C 社> ・今回の規模であればそれほど大きな負担ではないが、チケットの精査や請求事務の負担が少しあった
③配車の負担（市外への配車）
<A 社> ・特になし
<B 社> ・特になし
<C 社> ・空き時間に予約があった場合に対応していたため、断るケースも多かった ・市外の送迎依頼などで断ったケースもある
利用者の状況
①新たな利用者は開拓されたか
<A 社> ・特に増えていない
<B 社> ・新規の利用者が増えた
<C 社> ・2・3 名の新規利用があった
②利用者からのご意見
<A 社> ・午前中を希望する声が多かった
<B 社> ・時間限定で利用がしにくい ・今後も継続してほしい
<C 社> ・補助があって使いやすくなったとの意見があった
③利用者層（年齢層、体調、居住地などの特徴）
<A 社> ・今までの利用者が使ったという印象
<B 社> ・普段から 60 才以上の方が多い
<C 社> ・相生や水主はあまり利用者がいない地域だったので少し利用者が増えた
④目的地（地名で記載されている箇所について補足、タクシーを待機させたまま買い物等されるケー

ス、市外への（からの）ご利用） <table border="1"> <tr> <td> <A 社> ・ 買物、次いで通院が多かったが、知人宅への訪問や理美容室の利用もあった </td> </tr> <tr> <td> <B 社> ・ 買物と通院での利用がほとんど </td> </tr> <tr> <td> <C 社> ・ 通院利用がほとんど </td> </tr> </table>	<A 社> ・ 買物、次いで通院が多かったが、知人宅への訪問や理美容室の利用もあった	<B 社> ・ 買物と通院での利用がほとんど	<C 社> ・ 通院利用がほとんど								
<A 社> ・ 買物、次いで通院が多かったが、知人宅への訪問や理美容室の利用もあった											
<B 社> ・ 買物と通院での利用がほとんど											
<C 社> ・ 通院利用がほとんど											
今後の展開の可能性 ①エリアを市内全域に拡大した場合の対応可能性 <table border="1"> <tr> <td> <A 社> ・ 対応可能 </td> </tr> <tr> <td> <B 社> ・ 市内全域で対応してほしい </td> </tr> <tr> <td> <C 社> ・ 状況によって検討する </td> </tr> </table> ②チケット利用時間帯の設定（午前中を含むことが可能か） <table border="1"> <tr> <td> <A 社> ・ 対応可能 </td> </tr> <tr> <td> <B 社> ・ 対応可能 </td> </tr> <tr> <td> <C 社> ・ 状況によって検討する </td> </tr> </table> ③利用者支払額を定額とする場合（例えば 500 円を利用者が負担し、残りを市が助成）の懸念点 <table border="1"> <tr> <td> <A 社> ・ 利用は増えると思う ・ 影響は分からない </td> </tr> <tr> <td> <B 社> ・ 利用者は増えると思う ・ 対応は難しくなる恐れがある </td> </tr> <tr> <td> <C 社> ・ 現状でも対応が難しい場合が多いので大幅な利用増には対応できない可能性が高い </td> </tr> </table> ④システム化（チケットのアプリ化・QR コード化、位置情報・時刻の自動取得）への対応可能性 <table border="1"> <tr> <td> <A 社> ・ ドライバーが高齢でシステム化は難しい ・ 一部 QR 決済を導入したが、ドライバーが対応できていない ・ カード等は手数料負担が大きい </td> </tr> <tr> <td> <B 社> </td> </tr> </table>	<A 社> ・ 対応可能	<B 社> ・ 市内全域で対応してほしい	<C 社> ・ 状況によって検討する	<A 社> ・ 対応可能	<B 社> ・ 対応可能	<C 社> ・ 状況によって検討する	<A 社> ・ 利用は増えると思う ・ 影響は分からない	<B 社> ・ 利用者は増えると思う ・ 対応は難しくなる恐れがある	<C 社> ・ 現状でも対応が難しい場合が多いので大幅な利用増には対応できない可能性が高い	<A 社> ・ ドライバーが高齢でシステム化は難しい ・ 一部 QR 決済を導入したが、ドライバーが対応できていない ・ カード等は手数料負担が大きい	<B 社>
<A 社> ・ 対応可能											
<B 社> ・ 市内全域で対応してほしい											
<C 社> ・ 状況によって検討する											
<A 社> ・ 対応可能											
<B 社> ・ 対応可能											
<C 社> ・ 状況によって検討する											
<A 社> ・ 利用は増えると思う ・ 影響は分からない											
<B 社> ・ 利用者は増えると思う ・ 対応は難しくなる恐れがある											
<C 社> ・ 現状でも対応が難しい場合が多いので大幅な利用増には対応できない可能性が高い											
<A 社> ・ ドライバーが高齢でシステム化は難しい ・ 一部 QR 決済を導入したが、ドライバーが対応できていない ・ カード等は手数料負担が大きい											
<B 社>											

・難しいことは運転士がついていけない ・現状のままでいい
<C 社> ・利用者が高齢で対応は難しい
⑤事業の継続に必要な支援
<A 社> ・報酬が低すぎて運転士のなり手がいない ・運転士を確保する支援をしてほしい
<B 社> ・会社にとって利用客の減少で経営が厳しいときはそれなりの援助があればよい ・その時の状況で判断すればよい
<C 社> —
その他
<A 社> ・チケットの枚数制限がないと、まとめて使われてしまい継続利用につながらない ・1 乗車あたりの利用枚数を制限するなど、利用回数を増やす方が収益性もあがる
<B 社> ・1 回に利用できるチケット枚数には制限を設けるほうがいい、利用回数を増やすようにしてほしい。 ・プレミアムチケットのような割引率の高いチケットを市が発行してはどうか ・利用者に制限を設けず、購入しやすいチケットを期間限定でもいいので作ってみる、要はタクシーに乗る便利さを知らせることが必要
<C 社> ・市内全域で実施や午前中を OK にした場合、対応できないことが想定され、市へのクレームが増えるのではないかと

5. タクシー利用助成実証実験の評価と今後の方向性

タクシーチケットの配布・利用状況

- ・対象人口に対する利用率は **20.1%**にとどまった
- ・配布済みチケットの利用率も **17.2%**にとどまった
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、7・8月は利用が伸び悩んだが、9月は感染拡大も落ち着き、駆け込み利用が増加した
- ・タクシーチケットは主に通院・買物といった日常生活での移動に利用された

対象者アンケート調査

- ・回答者の約3割は運転免許をもともと持っておらず、約2割は持っていたが返納済み
- ・平日は13時以降しかタクシーチケットを利用できないため、回答者の約3/4は外出を13時以降に合わせるようにしたと回答
- ・タクシーチケットにより外出頻度が増えた人は回答者の約1/4で、元々の外出頻度が週1～2日から月に数日という人に多い
- ・実証実験中にタクシーの利用回数が増えたのは回答者の約3割、変わらないが半数程度
- ・路線バス・鉄道の利用回数は、増えた人より減った人の割合が高い（増えた人4.5%、減った人11.4%、変わらない人35.2%）
- ・タクシーを安く利用できて助かる、家まで来てくれて便利といった回答が多い一方、平日は13時以降に利用を制限していることに対する不満も多い
- ・タクシーチケット制度が本格導入された場合、タクシーチケットを利用した回答者の93.4%が利用すると回答
- ・一方で利用しないという人は、その理由として、利用時間の制約（平日は13時以降）、自家用車で自由に移動できる、予約などの手続きが面倒といったことを挙げている

タクシー事業者ヒアリング

- ・実験中に新規の利用があり、営業収入が増えた事業者がいる
- ・チケットに運転士が必要事項（乗降場所、乗降時刻等）を記載することに関する負担感は限定的だが、チケットの精査等による事務の負担が大きいとのコメントあり
- ・配車への負担は一部の事業者で発生
- ・全市への対象拡大については概ね対応可能との回答
- ・利用者負担額を定額にする場合、利用は増えると思うが運転士が不足していることから、対応は難しいと思われる。
- ・システム化（チケットのQRコードアプリ化等）はドライバー側も利用者側も高齢のため難しいとの回答
- ・運転士確保に向けた支援が必要
- ・1回に利用できるチケットの枚数に制限を掛けた方がよい（継続利用につなげるため）

○ドアツードア型の交通弱者支援策の有効性について

タクシーチケットの利用状況から、利用人数ベースで全体の20.1%（枚数ベースでは17.6%の利用率）しか利用されていないこと、また、アンケート調査からタクシーチケットを利用しなかった理由として、免許保有者からは「自家用車で自由に移動できるから」という回答が91.4%もあったこと、免許非保有者についても「家族や知人など運転してくれる人がいるから」という回答が60%を超えていることが分かった。高齢者の中でも自分で運転する人や家族など運転してくれる人がいる場合などは、移動支援のニーズが低く、タクシーの利用につながりにくいものと思われる。

一方、タクシーチケットの利用者については、アンケート調査から93.9%の方が本格導入した場合にも利用したいと回答していることから、移動支援を必要としている方については、ドアツードア型の移動支援策へのニーズは高いものと思われる。

こうした結果から、ドアツードア型の交通弱者支援策には一定の有効性があるが、対象者の選定にあたっては、年齢による制限だけでは効果的な支援につながりにくいと考えられる。

○タクシーの空き時間の活用によるタクシーの効率的な運行について

午後の時間帯を活用した支援策について、利用者からはチケット利用にあたり「外出時間を調整した」との回答が74.2%あり、公共交通を意識した予定調整を行った人が多かった。一方、タクシー事業者からは「新規の利用者があった」「営業収入が増えた」との回答もあったが、生産性への影響については、特に影響がなかったとの回答が多く、空き時間の活用による効率的な運行に大きな影響を与えることができなかった。

なお、タクシー事業者のヒアリングからは、時間帯の拡大と市内全域での対応について、前向きな意見が多く、今後の継続についても、実施体制の確保は可能とのことだった。

○交通弱者の外出機会の創出について

タクシーチケットの利用者については、24.8%が「チケットの利用で外出頻度が増えた」と回答していること、また、もともとの外出頻度が「月に数回」や「週1・2回」と比較的低い層が「外出頻度が増えた」と回答していることから交通弱者の外出機会の創出には一定の効果があったと思われる。また、目的地として「市交流プラザ」や「ひとの駅さんぽんまつ」などの商業施設と病院以外の施設の利用者も一定数いること、数人で乗り合わせて利用した等の回答があることから、必要最低限の移動だけでなく、新たなお出かけにつながる可能性もあると思われる。

○今後の方向性

今回の実証実験から、タクシーを使ったドアツードア型の移動支援策については、一定のニーズがあるが、必要としている対象者については、単純に年齢による制限だけでは十分な利用につながりにくいこと、また時間帯の制限については、午前中の利用を希望する声が利用者と事業者の双方から出ていることが確認できた。ただし、大幅な需要増については、現在の体制では対応が困難との事業者の声もあることから、対象者の設定など実施方法を精査し、次年度からの制度実施に向けて取り組んでいく。

小海あいのりタクシー実証実験事業の中間結果まとめ

【概要】

項 目	内 容																											
実 験 期 間	令和 4 年 10 月 3 日（月）～令和 4 年 11 月 28 日（月）																											
運 行 区 間	小海地区内各戸 ⇄ 旧引田町内主要施設																											
事 業 主 体	東かがわ市																											
利 用 主 体	小海活性化協議会（以下、「協議会」）																											
対 象 者	小海地区の住民で、事前に協議会に利用登録を行ったもの																											
運 行 日	月・金（祝日運行） ※計 17 日																											
運 行 時 間 帯	13：00～17：00																											
利 用 方 法	①利用者が利用日前日の正午までに協議会に利用時間等を連絡する。 ②利用日前日までの予約を協議会が調整し、協議会がタクシー会社に配車依頼を行う。 ③タクシー会社が運行計画を協議会に提出する。 ④タクシー会社が送迎を行う。																											
運 行 車 両	タクシー車両（セダンタイプ） ※東讃共同㈱及び㈲白鳥タクシーが運行																											
利 用 料	実験期間中の会費＝2,000 円／人（11 月のみの利用者は 1,000 円／人） ※利用料はあらかじめ小海活性化協議会に支払う。																											
乗 降 場 所	乗降場所は、利用者宅又は下記の乗降場所に限る。 <table><tr><td>①</td><td>マルナカ引田店</td><td>⑦</td><td>翼山温泉</td></tr><tr><td>②</td><td>コメリ引田店</td><td>⑧</td><td>引田駅</td></tr><tr><td>③</td><td>みさごクリニック</td><td>⑨</td><td>大川バス引田待合所</td></tr><tr><td>④</td><td>三木医院</td><td>⑩</td><td>高速引田バス停</td></tr><tr><td>⑤</td><td>古川医院（相生地区）</td><td>⑪</td><td>小海コミュニティセンター</td></tr><tr><td>⑥</td><td>市役所引田庁舎</td><td>⑫</td><td>つばさ交流センター</td></tr></table>				①	マルナカ引田店	⑦	翼山温泉	②	コメリ引田店	⑧	引田駅	③	みさごクリニック	⑨	大川バス引田待合所	④	三木医院	⑩	高速引田バス停	⑤	古川医院（相生地区）	⑪	小海コミュニティセンター	⑥	市役所引田庁舎	⑫	つばさ交流センター
①	マルナカ引田店	⑦	翼山温泉																									
②	コメリ引田店	⑧	引田駅																									
③	みさごクリニック	⑨	大川バス引田待合所																									
④	三木医院	⑩	高速引田バス停																									
⑤	古川医院（相生地区）	⑪	小海コミュニティセンター																									
⑥	市役所引田庁舎	⑫	つばさ交流センター																									
備 考	自治会内回覧及び郵送等にて対象者への周知を実施。 地域コミュニティ協議会委員が直接依頼を行った。																											

【途中経過（11/18 時点）】

項 目	内 容
登 録 者	2 名
運 行 状 況	運行日数：5 日（運行率 5/14） 運行回数 10 回（全日往復で利用）
乗 り 合 い 率	2.0